

令和6年度 奨学金の返還者に関する属性調査結果

令和8年1月

独立行政法人 日本学生支援機構

＜ 目 次 ＞

I 調査の概要

II 調査結果

基礎情報

1. 奨学生本人の性別
2. 奨学生本人の年齢
3. 奨学金の種類
4. 奨学金の貸与学種

1 回答者および在学中の手續等に関すること		該当ページ
(1)回答者	表1-1	P5
(2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者	表1-2	P5～6
(3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について	表1-3-1～1-3-3	P7～8
(4)奨学金はどのように役に立ったか	表1-4-1～1-4-2	P9
(5)返還義務を知った時期	表1-5-1～1-5-2	P10～11
(6)人的保証制度の選択理由	表1-6	P12
(7)機関保証制度の選択理由	表1-7	P12
(8)保証料額をどう思うか	表1-8	P13
(9)保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか	表1-9	P13
2 返還について		
(1)主に返還金を用意する人	表2-1-1～2-1-2	P14
(2)学種と主に返還金を用意する人との関係	表2-2-1～2-2-2	P15
(3)月々の返還額について	表2-3-1～2-3-3	P16～17
(4)年収と月に返還できる金額との関係	表2-4-1～2-4-2	P18～19
(5)所得連動返還方式を利用したいと思うか	表2-5	P20
(6)年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係	表2-6-1～2-6-2	P21～22
(7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか	表2-7-1～2-7-5	P23～25
(8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度	表2-8	P26
(9) 年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係	表2-9-1～2-9-2	P27～30
(10)繰上返還を利用したことがあるか	表2-10-1～2-10-2	P31
(11)年収と繰上返還の利用との関係	表2-11	P32
(12)将来の返還額のシミュレーションを行ったか	表2-12	P33
3 奨学生本人の職業について		
(1)奨学生本人の職業	表3-1-1～3-1-3	P34～35
(2)年齢と職業との関係	表3-2-1～3-2-2	P36
(3)学種と職業との関係	表3-3-1～3-3-2	P37～38
4 奨学生本人の年収について		
(1)奨学生本人の年収	表4-1-1～4-1-3	P39～41
(2)職業と年収との関係	表4-2-1～4-2-2	P42～43
(3)年齢と年収との関係	表4-3-1～4-3-2	P44
(4)学種と年収との関係	表4-4-1～4-4-2	P45～46

5 延滞の状況 ※ (1)～(4)は延滞者に、(5)(6)(8)は無延滞者に質問。

(1)延滞している理由	表5-1-1～5-1-3	P47～49
(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係	表5-2	P50
(3)年収と延滞している理由との関係	表5-3	P51～52
(4)職業と延滞している理由との関係	表5-4	P53～54
(5)延滞経験の有無	表5-5	P55
(6)延滞になったことを何で知ったか	表5-6	P55
(7)延滞をしたときに最初にしたこと	表5-7-1～5-7-2	P56
(8)延滞を解消できた理由	表5-8	P57

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1)返還期限猶予制度の認知状況	表6-1-1～6-1-2	P58～59
(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-2-1～6-2-2	P60
(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係	表6-3-1～6-3-2	P61～62
(4)返還期限猶予制度を何で知ったか	表6-4-1～6-4-4	P63～66
(5)減額返還制度の認知状況	表6-5-1～6-5-2	P67～68
(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係	表6-6-1～6-6-2	P69
(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係	表6-7-1～6-7-2	P70
(8)減額返還制度を何で知ったか	表6-8-1～6-8-2	P71～72
(9)スカラネット・パーソナルによる電子申請の認知状況	表6-9	P73

<調査票>

奨学金の返還に関するアンケート（延滞者用）

奨学金の返還に関するアンケート（無延滞者用）

（注意）

- 1 各表は無回答・不明を除いた比率で集計している。
- 2 単位は人である。
- 3 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
- 4 複数回答の設問に関する表の各回答の比率は、合計しても100%にならない。
※ 各回答の比率は回答者数の合計に対する比率である。
- 5 表区分の年度は、調査年度を表す。

I 調査の概要

1 目的

奨学金返還者の状況を把握し、奨学金回収方策の検討のための基礎資料を得る。

2 調査対象

- (1) 令和6年12月末において、奨学金返還を3か月以上延滞している者（以下「延滞者」という。）から無作為抽出した20,000人。
- (2) 令和6年12月末において、奨学金返還を延滞していない者（以下「無延滞者」という。）から無作為抽出した15,000人。

3 調査方法

質問を記入した調査票を送付し、WEB回答を依頼した。

4 調査時期

令和7年2月

5 回答受入状況

	抽出人数	回答人数	回答率	参考母数（令和6年度末）
延滞者	20,000 人	1,648 人	8.2%	127 千人
無延滞者	15,000 人	1,898 人	12.7%	4,570 千人

※ 回答人数には無回答・不明回答を含まない。

※ 貸与奨学生として採用されてから10年以内の者と、採用から10年超えの者を比較し、

その結果、傾向に差がみられた項目についてはその旨を付記した。

（参考）令和6年度末現在の状況

- | | |
|----------------------|----------|
| ① 返還を要する者（返還期日到来分のみ） | 4,888 千人 |
| ② 返還している者 | 4,570 千人 |
| ③ 1日以上延滞者 | 318 千人 |
| ④ 3か月以上の延滞者 | 127 千人 |

Ⅱ 調査結果

基礎情報

1 奨学生本人の性別 (単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
男性	859	52.1%	953	50.2%
女性	789	47.9%	945	49.8%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

2 奨学生本人の年齢 (単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
20代以下	448	27.2%	771	40.6%
30代	594	36.0%	956	50.4%
40代	380	23.1%	150	7.9%
50代以上	226	13.7%	21	1.1%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

3 奨学金の種類 (単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
第一種	481	29.2%	791	41.7%
第二種	1,167	70.8%	1,107	58.3%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

4 奨学金の貸与学種 (単位：人)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
高等学校	85	5.2%	5	0.3%
高等専門学校	2	0.1%	75	4.0%
短期大学	118	7.2%	86	4.5%
大学	939	57.0%	1,246	65.6%
大学院	55	3.3%	167	8.8%
専修学校専門課程	447	27.1%	319	16.8%
専修学校高等課程	2	0.1%	0	0.0%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

1 回答者および在学中の手續等に関すること

(1)回答者（択一）

アンケート調査に回答した者は、延滞者、無延滞者ともに、90%以上が「奨学生本人」である。

表1-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,533	93.0%	1,729	91.1%
本人の親	109	6.6%	163	8.6%
本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	4	0.2%	4	0.2%
その他	2	0.1%	2	0.1%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

(2)奨学金申請時に申込手続き（書類作成や入力作業）を行った者（択一）

奨学金申請時の申込手続きを「奨学生本人」が行った比率は、無延滞者は66.9%であるのに対し、延滞者は58.6%と低い。「奨学生本人」と「本人と親等」を合せてみても、無延滞者は80.3%であるのに対し、延滞者は72.1%しか申請時の申込手続きに奨学生本人が関わっていない。

表1-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	965	58.6%	1,270	66.9%
親（または祖父母等の家族、親戚）	367	22.3%	298	15.7%
本人と親等	223	13.5%	255	13.4%
その他	4	0.2%	1	0.1%
覚えていない・わからない	89	5.4%	74	3.9%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

採用年別で比較すると、いずれの区分も採用から10年超えの者が「奨学生本人」と回答した比率が低く、「親（または祖父母等の家族、親戚）」が申込手続きに関わっている比率が高い。

表1-2（参考）

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	592	53.1%	373	69.9%	609	62.1%	661	72.0%
親（または祖父母等の家族、親戚）	301	27.0%	66	12.4%	200	20.4%	98	10.7%
本人と親等	149	13.4%	74	13.9%	130	13.3%	125	13.6%
その他	4	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
覚えていない・わからない	68	6.1%	21	3.9%	41	4.2%	33	3.6%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	980	100.0%	918	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	688	46.8%	764	47.9%	805	43.9%	879	41.9%	798	39.9%
親（または祖父母等の家族、親戚）	326	22.2%	380	23.8%	467	25.5%	608	29.0%	564	28.2%
本人と親等	368	25.0%	355	22.3%	441	24.1%	503	24.0%	476	23.8%
その他	6	0.4%	5	0.3%	1	0.1%	5	0.2%	2	0.1%
覚えていない・わからない	82	5.6%	91	5.7%	118	6.4%	103	4.9%	160	8.0%
計	1,470	100.0%	1,595	100.0%	1,832	100.0%	2,098	100.0%	2,000	100.0%

【無延滞者】

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	840	59.4%	834	59.0%	1,009	58.9%	1,192	59.0%	868	60.0%
親（または祖父母等の家族、親戚）	199	14.1%	185	13.1%	245	14.3%	300	14.9%	161	11.1%
本人と親等	348	24.6%	358	25.3%	425	24.8%	478	23.7%	385	26.6%
その他	0	0.0%	1	0.1%	6	0.4%	1	0.0%	0	0.0%
覚えていない・わからない	26	1.8%	36	2.5%	29	1.7%	48	2.4%	33	2.3%
計	1,413	100.0%	1,414	100.0%	1,714	100.0%	2,019	100.0%	1,447	100.0%

(3)日本学生支援機構以外の貸与奨学金について

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金（給付奨学金を除く）を受けていたか質問した。（択一）

在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた者は、延滞者10.9%、無延滞者7.7%であり、いずれも90%程度が「受けていなかった」と回答している。

表1-3-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
受けていた	180	10.9%	146	7.7%
受けていなかった	1,468	89.1%	1,752	92.3%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し、理由を質問した。（択一）

「機構の奨学金だけでは不足だった」と回答した者が多く占めており、延滞者は83.9%、無延滞者は77.4%となった。

表1-3-2

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
機構の奨学金だけでは不足だった	151	83.9%	113	77.4%
生活にゆとりを持ちたかった	14	7.8%	26	17.8%
その他	15	8.3%	7	4.8%
計	180	100.0%	146	100.0%

採用年別で比較すると、いずれの区分も、採用から10年以内の者の方が「機構の奨学金だけでは不足」と回答した比率が高い。

表1-3-2（参考）

（単位：人）

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
機構の奨学金だけでは不足だった	89	80.9%	62	88.6%	53	74.6%	60	80.0%
生活にゆとりを持ちたかった	10	9.1%	4	5.7%	13	18.3%	13	17.3%
その他	11	10.0%	4	5.7%	5	7.0%	2	2.7%
計	110	100.0%	70	100.0%	71	100.0%	75	100.0%

「在学中に日本学生支援機構以外の貸与奨学金も受けていた」と回答した者に対し、金額を質問した。（択一）
延滞者、無延滞者ともに、1万円～3万円未満が多かった。

表1-3-3 (単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
1万円未満	19	10.6%	20	13.7%
1万円～2万円未満	44	24.4%	27	18.5%
2万円～3万円未満	34	18.9%	27	18.5%
3万円～4万円未満	18	10.0%	16	11.0%
4万円～5万円未満	15	8.3%	18	12.3%
5万円～6万円未満	20	11.1%	15	10.3%
6万円～7万円未満	6	3.3%	3	2.1%
7万円～8万円未満	6	3.3%	4	2.7%
8万円以上	18	10.0%	16	11.0%
計	180	100.0%	146	100.0%

採用年別で比較すると、延滞者における貸与額が「3万円未満」の割合は、採用から10年超えの者が58.1%、採用から10年以内の者が47.1%となり、無延滞者では、それぞれ53.5%、48.1%となった。

表1-3-3（参考） (単位：人)

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
1万円未満	12	10.9%	7	10.0%	12	16.9%	8	10.7%
1万円～2万円未満	26	23.6%	18	25.7%	13	18.3%	14	18.7%
2万円～3万円未満	26	23.6%	8	11.4%	13	18.3%	14	18.7%
3万円～4万円未満	8	7.3%	10	14.3%	3	4.2%	13	17.3%
4万円～5万円未満	9	8.2%	6	8.6%	9	12.7%	9	12.0%
5万円～6万円未満	8	7.3%	12	17.1%	7	9.9%	8	10.7%
6万円～7万円未満	5	4.5%	1	1.4%	1	1.4%	2	2.7%
7万円～8万円未満	6	5.5%	0	0.0%	1	1.4%	3	4.0%
8万円以上	10	9.1%	8	11.4%	12	16.9%	4	5.3%
計	110	100.0%	70	100.0%	71	100.0%	75	100.0%

(4)奨学金はどのように役に立ったか（複数回答）

奨学金がどのように役に立ったかについて、延滞者、無延滞者ともに「授業料等の学校納付金に使うことができた」が最も多く、「毎月の生活費に使うことができた」が2番目に多い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表1-4-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
授業料等の学校納付金に使うことができた	1,198	72.7%	1,339	70.5%
毎月の修学費（書籍、文具購入費等）に使うことができた	494	30.0%	674	35.5%
毎月の生活費に使うことができた	683	41.4%	895	47.2%
アルバイトの時間を減らすことができた	149	9.0%	280	14.8%
その他	72	4.4%	48	2.5%
回答者数	1,648		1,898	

回答者のうち、2つ以上の効果を感じている者は、延滞者は38.4%、無延滞者は44.9%である。

表1-4-2

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
いずれか1つの効果を感じている人	1,015	61.6%	1,046	55.1%
2つ以上の効果を感じている人	633	38.4%	852	44.9%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

(5)返還義務を知った時期（択一）

返還義務を知った時期は、無延滞者全体では「申込手続きを行う前」が87.7%であるのに対し、延滞者全体では60.1%にとどまっている。

また、延滞者全体では、貸与終了後に返還義務を知った者は11.7%となっている。

特に、延滞者のうち採用から10年超えの者は、14.3%となっており、そのうち、5.8%は、「延滞督促を受けてから」知ったと回答している。

表1-5-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	990	60.1%	1,664	87.7%
申込手続中	247	15.0%	100	5.3%
貸与中	75	4.6%	60	3.2%
貸与終了時	37	2.2%	17	0.9%
貸与終了後～返還開始前	47	2.9%	22	1.2%
返還開始～延滞督促前	64	3.9%	6	0.3%
延滞督促を受けてから	81	4.9%	1	0.1%
その他	6	0.4%	2	0.1%
わからない・覚えていない	101	6.1%	26	1.4%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

表1-5-1（参考）

(単位：人)

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	633	56.8%	357	66.9%	843	86.0%	821	89.4%
申込手続中	160	14.4%	87	16.3%	52	5.3%	48	5.2%
貸与中	60	5.4%	15	2.8%	37	3.8%	23	2.5%
貸与終了時	29	2.6%	8	1.5%	14	1.4%	3	0.3%
貸与終了後～返還開始前	41	3.7%	6	1.1%	16	1.6%	6	0.7%
返還開始～延滞督促前	53	4.8%	11	2.1%	5	0.5%	1	0.1%
延滞督促を受けてから	65	5.8%	16	3.0%	1	0.1%	0	0.0%
その他	5	0.4%	1	0.2%	1	0.1%	1	0.1%
わからない・覚えていない	68	6.1%	33	6.2%	11	1.1%	15	1.6%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	980	100.0%	918	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	798	54.4%	896	56.2%	1,006	55.1%	1,091	52.2%	996	50.3%
申込手続中	237	16.2%	213	13.4%	258	14.1%	291	13.9%	287	14.5%
貸与中	99	6.7%	93	5.8%	133	7.3%	122	5.8%	129	6.5%
貸与終了時	37	2.5%	52	3.3%	44	2.4%	60	2.9%	65	3.3%
貸与終了後～返還開始前	55	3.7%	57	3.6%	66	3.6%	95	4.5%	77	3.9%
返還開始～延滞督促前	40	2.7%	58	3.6%	57	3.1%	80	3.8%	83	4.2%
延滞督促を受けてから	94	6.4%	108	6.8%	140	7.7%	184	8.8%	163	8.2%
その他	7	0.5%	14	0.9%	11	0.6%	17	0.8%	14	0.7%
わからない・覚えていない	100	6.8%	103	6.5%	112	6.1%	150	7.2%	167	8.4%
計	1,467	100.0%	1,594	100.0%	1,827	100.0%	2,090	100.0%	1,981	100.0%

【無延滞者】

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
申込手続きを行う前	1,251	88.5%	1,260	89.1%	1,536	89.6%	1,793	88.9%	1,293	89.4%
申込手続中	85	6.0%	86	6.1%	84	4.9%	111	5.5%	72	5.0%
貸与中	35	2.5%	28	2.0%	32	1.9%	55	2.7%	40	2.8%
貸与終了時	9	0.6%	3	0.2%	11	0.6%	13	0.6%	8	0.6%
貸与終了後～返還開始前	13	0.9%	18	1.3%	23	1.3%	16	0.8%	14	1.0%
返還開始～延滞督促前	6	0.4%	2	0.1%	5	0.3%	9	0.4%	3	0.2%
延滞督促を受けてから	3	0.2%	1	0.1%	3	0.2%	2	0.1%	3	0.2%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	3	0.1%	1	0.1%
わからない・覚えていない	12	0.8%	16	1.1%	20	1.2%	15	0.7%	13	0.9%
計	1,414	100.0%	1,414	100.0%	1,715	100.0%	2,017	100.0%	1,447	100.0%

返還義務を知った時期について、申し込み後（「貸与中」「貸与終了時」「貸与終了後～返還開始前」「返還開始～延滞督促前」「延滞督促を受けてから」を選択した者）に知ったと回答した延滞者に対して、その理由を質問した。

「親等が返還と思っていた」と回答した割合が59.2%と最も高く、次いで「返還しなくても、督促を受けるなどの、不利益が生じることはないと思っていた」が、22.0%となった。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表1-5-2 【延滞者】

(単位：人)

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
親等が返還と思っていた	148	59.7%	32	57.1%	180	59.2%
知人等から、返還する必要は無いと誤った情報を聞いていた	28	11.3%	11	19.6%	39	12.8%
返還しなくても、督促を受けるなどの、不利益が生じることはないと思っていた	50	20.2%	17	30.4%	67	22.0%
その他	44	17.7%	5	8.9%	49	16.1%
回答者数	248	-	56	-	304	-

※日本学生支援機構では、奨学金を利用するにあたり、連帯保証人・保証人を選任する「人的保証」か、一定の保証料を支払うことにより、保証機関（公財）日本国際教育支援協会が連帯保証する「機関保証」のいずれかの選択を求めている。

(6)人的保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

人的保証制度を選択している者に、人的保証を選択した理由を質問した。
「親等からのアドバイス」と回答した比率が42.5%と最も高い。

表1-6【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
保証料が高かったから	55	9.5%	52	11.5%	107	10.3%
保証料を払いたくなかったから	99	17.0%	80	17.6%	179	17.3%
親等からのアドバイス	214	36.8%	226	49.8%	440	42.5%
機関保証にしても支払義務はなくなるから	11	1.9%	7	1.5%	18	1.7%
代位弁済後も支払義務はなくなるから	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
制度がよくわからなかったから	179	30.8%	83	18.3%	262	25.3%
その他	23	4.0%	5	1.1%	28	2.7%
計	581	100.0%	454	100.0%	1,035	100.0%
無回答	30		12			

(7)機関保証制度の選択理由（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、機関保証を選択した理由を質問した。
「自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから」と回答した比率が、32.8%と最も高い。

表1-7【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
自分の意志と責任で奨学金を申し込みたかったから	66	34.7%	88	31.4%	154	32.8%
親などに自分の責任で奨学金を申し込むように言われたから	46	24.2%	85	30.4%	131	27.9%
連帯保証人・保証人になってくれる人がいなかったから	38	20.0%	63	22.5%	101	21.5%
連帯保証人・保証人を頼むのが面倒だったから	32	16.8%	37	13.2%	69	14.7%
その他	8	4.2%	7	2.5%	15	3.2%
計	190	100.0%	280	100.0%	470	100.0%
無回答	179		172			

(8)保証料額をどう思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料額をどう思うか質問した。

「適当」と回答した者の比率が、40.6%と最も高く、次いで「やや高い」と回答した者の34.7%である。

表1-8【無延滞者】

(単位：人)

学種	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
とても高い	51	26.8%	60	21.4%	111	23.6%
やや高い	67	35.3%	96	34.3%	163	34.7%
適当	68	35.8%	123	43.9%	191	40.6%
やや低い	1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
とても低い	3	1.6%	0	0.0%	3	0.6%
計	190	100.0%	280	100.0%	470	100.0%
無回答	179		172			

(9) 保証料の支払方法はどのような方法がよいと思うか（択一）※無延滞者にのみ質問

機関保証制度を選択している者に、保証料の支払方法としてよいと思う方法について質問した。

現在の支払方法である「貸与時に貸与月額から差し引く方法（現行の方法）」と回答した者の比率が、57.9%で最も高い。

表1-9【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
貸与時に貸与月額から差し引く方法（現行の方法）	101	53.2%	171	61.1%	272	57.9%
返還時に返還月額に上乗せして支払う方法	39	20.5%	32	11.4%	71	15.1%
上記以外の方法	1	0.5%	1	0.4%	2	0.4%
わからない	49	25.8%	76	27.1%	125	26.6%
計	190	100.0%	280	100.0%	470	100.0%
無回答	179		172			

2 返還について

(1)主に返還金を用意する人（択一）

「奨学生本人」が返還金を用意している比率は、延滞者全体では89.8%であるのに対し、無延滞者では90.4%である。

表2-1-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,480	89.8%	1,715	90.4%
本人の親	137	8.3%	151	8.0%
本人の配偶者・パートナー	16	1.0%	23	1.2%
その他	15	0.9%	9	0.5%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

「奨学生本人」以外が返還金を用意していると回答した者に対し、返還金を用意している人との関係について質問した。

「連帯保証人」と回答した者の比率が延滞者全体で44.6%、無延滞者全体で44.3%で最も高い。

表2-1-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
連帯保証人（人的保証）	75	44.6%	81	44.3%
保証人（人的保証）	40	23.8%	30	16.4%
機関保証の「本人以外の連絡先」に登録している人	6	3.6%	13	7.1%
上記以外	20	11.9%	24	13.1%
分からない	27	16.1%	35	19.1%
計	168	100.0%	183	100.0%

(2)学種と主に返還金を用意する人との関係

学種と主に返還金を用意する人との関係をみると、無延滞者、延滞者ともに全ての学種において「奨学生本人」が返還金を用意している比率が80%以上で最も高い。

表2-2-1 学種×主に返還金を用意する人【延滞者】

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	75	88.2%	2	100.0%	107	90.7%
本人の親	9	10.6%	0	0.0%	8	6.8%
本人の配偶者・パートナー	1	1.2%	0	0.0%	1	0.8%
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	1.7%
計	85	100.0%	2	100.0%	118	100.0%

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	851	90.6%	52	94.5%	391	87.5%	2	100.0%
本人の親	71	7.6%	2	3.6%	47	10.5%	0	0.0%
本人の配偶者・パートナー	7	0.7%	0	0.0%	7	1.6%	0	0.0%
その他	10	1.1%	1	1.8%	2	0.4%	0	0.0%
計	939	100.0%	55	100.0%	447	100.0%	2	100.0%

表2-2-2 学種×主に返還金を用意する人【無延滞者】

学種 主に返還金を用意する人	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	4	80.0%	64	85.3%	83	96.5%
本人の親	0	0.0%	10	13.3%	1	1.2%
本人の配偶者・パートナー	1	20.0%	0	0.0%	2	2.3%
その他	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
計	5	100.0%	75	100.0%	86	100.0%

学種 主に返還金を用意する人	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人	1,121	90.0%	159	95.2%	284	89.0%	0	0.0%
本人の親	105	8.4%	7	4.2%	28	8.8%	0	0.0%
本人の配偶者・パートナー	13	1.0%	1	0.6%	6	1.9%	0	0.0%
その他	7	0.6%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
計	1,246	100.0%	167	100.0%	319	100.0%	0	0.0%

(3)月々の返還額について

現在の月々の返還額はいくらか質問した。(択一)

延滞者、無延滞者ともに「1万円～1万5千円未満」と回答した比率が最も高い。

表2-3-1

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
5千円未満	98	5.9%	32	1.7%
5千円～1万円未満	201	12.2%	250	13.2%
1万円～1万5千円未満	367	22.3%	603	31.8%
1万5千円～2万円未満	310	18.8%	429	22.6%
2万円～2万5千円未満	212	12.9%	278	14.6%
2万5千円～3万円未満	128	7.8%	118	6.2%
3万円～3万5千円未満	144	8.7%	66	3.5%
3万5千円～4万円未満	43	2.6%	50	2.6%
4万円以上	145	8.8%	72	3.8%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

また、現在の返還額を基準とすると月にどれくらいの金額であれば無理なく返還できるかについては、以下のとおりとなった。

無延滞者では「現在の返還額で良い」と回答した者の比率が、49.7%と最も高くなっているのに対し、延滞者では「4分の1以下」と回答した者の比率が、33.4%と高い。

表2-3-2

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	550	33.4%	324	17.1%
3分の1程度	273	16.6%	152	8.0%
2分の1程度	407	24.7%	347	18.3%
3分の2程度	115	7.0%	131	6.9%
現在の返還額で良い	303	18.4%	944	49.7%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

奨学金の返還に使用している口座について質問した。（択一）

無延滞者は52.0%が「奨学生本人の給与等が振り込まれる口座」と回答した。

延滞者のうち、採用から10年超えの者は「口座振替で返還したことはない」と回答した比率が38.0%と最も高く、採用から10年以内の者は「奨学生本人の口座だが、給与等が振り込まれる口座とは別の口座」と回答した比率が44.2%と最も高い。

表2-3-3

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
奨学生本人の給与等が振り込まれる口座	473	28.7%	987	52.0%
奨学生本人の口座だが、給与等が振り込まれる口座とは別の口座	612	37.1%	818	43.1%
本人以外（家族等）の給与等が振り込まれる口座	37	2.2%	52	2.7%
本人以外（家族等）の口座だが、給与等が振り込まれる口座とは別の口座	32	1.9%	36	1.9%
口座振替で返還したことはない	494	30.0%	5	0.3%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

表2-3-3（参考）

（単位：人）

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学生本人の給与等が振り込まれる口座	264	23.7%	209	39.1%	507	51.7%	480	52.3%
奨学生本人の口座だが、給与等が振り込まれる口座とは別の口座	376	33.8%	236	44.2%	419	42.8%	399	43.5%
本人以外（家族等）の給与等が振り込まれる口座	24	2.2%	13	2.4%	29	3.0%	23	2.5%
本人以外（家族等）の口座だが、給与等が振り込まれる口座とは別の口座	27	2.4%	5	0.9%	21	2.1%	15	1.6%
口座振替で返還したことはない	423	38.0%	71	13.3%	4	0.4%	1	0.1%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	980	100.0%	918	100.0%

(4) 年収と月に返還できる金額との関係

奨学生本人の年収と月に返還できる金額との関係をみると、延滞者では年収「400万円」を境に、月に返還できる金額が高くなる。

表2-4-1 年収×月に返還できる金額【延滞者】

(単位：人)

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる金額</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	71	50.7%	102	44.5%	109	36.8%	104	30.8%
3分の1程度	18	12.9%	37	16.2%	46	15.5%	53	15.7%
2分の1程度	18	12.9%	39	17.0%	64	21.6%	98	29.0%
3分の2程度	6	4.3%	18	7.9%	21	7.1%	19	5.6%
現在の返還額で良い	27	19.3%	33	14.4%	56	18.9%	64	18.9%
計	140	100.0%	229	100.0%	296	100.0%	338	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる金額</div> </div>	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	87	29.5%	33	21.0%	14	21.5%	9	22.5%
3分の1程度	55	18.6%	31	19.7%	13	20.0%	6	15.0%
2分の1程度	82	27.8%	55	35.0%	18	27.7%	10	25.0%
3分の2程度	29	9.8%	7	4.5%	4	6.2%	4	10.0%
現在の返還額で良い	42	14.2%	31	19.7%	16	24.6%	11	27.5%
計	295	100.0%	157	100.0%	65	100.0%	40	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる金額</div> </div>	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	3	15.8%	1	9.1%	5	38.5%	12	26.7%
3分の1程度	2	10.5%	3	27.3%	2	15.4%	7	15.6%
2分の1程度	6	31.6%	4	36.4%	3	23.1%	10	22.2%
3分の2程度	2	10.5%	1	9.1%	1	7.7%	3	6.7%
現在の返還額で良い	6	31.6%	2	18.2%	2	15.4%	13	28.9%
計	19	100.0%	11	100.0%	13	100.0%	45	100.0%

無延滞者については、「現在の返還額で良い」と回答した者が全収入区分を通じて高い比率となった。

表2-4-2 年収×月に返還できる程度【無延滞者】

(単位：人)

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる程度</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	7	12.5%	18	22.2%	26	18.6%	59	15.8%
3分の1程度	7	12.5%	4	4.9%	14	10.0%	32	8.6%
2分の1程度	12	21.4%	12	14.8%	30	21.4%	82	21.9%
3分の2程度	1	1.8%	9	11.1%	8	5.7%	33	8.8%
現在の返還額で良い	29	51.8%	38	46.9%	62	44.3%	168	44.9%
計	56	100.0%	81	100.0%	140	100.0%	374	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる程度</div> </div>	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	78	18.2%	46	14.6%	39	18.1%	22	21.4%
3分の1程度	34	7.9%	30	9.5%	10	4.6%	12	11.7%
2分の1程度	77	17.9%	54	17.1%	38	17.6%	12	11.7%
3分の2程度	30	7.0%	23	7.3%	16	7.4%	7	6.8%
現在の返還額で良い	210	49.0%	163	51.6%	113	52.3%	50	48.5%
計	429	100.0%	316	100.0%	216	100.0%	103	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>月に返還できる程度</div> </div>	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
4分の1以下	16	20.3%	3	10.0%	6	13.0%	4	14.3%
3分の1程度	6	7.6%	1	3.3%	1	2.2%	1	3.6%
2分の1程度	14	17.7%	7	23.3%	6	13.0%	3	10.7%
3分の2程度	1	1.3%	1	3.3%	1	2.2%	1	3.6%
現在の返還額で良い	42	53.2%	18	60.0%	32	69.6%	19	67.9%
計	79	100.0%	30	100.0%	46	100.0%	28	100.0%

(5)所得連動返還方式を利用したいと思うか（択一）

収入額に応じて、収入が低い間は少ない金額を、収入が高くなったら多い金額を返還していく「所得連動返還方式」を利用できるとしたら利用したいと回答した比率は、延滞者は36.7%と高く、無延滞者は「利用したくない（定額が良い）」と回答した比率が51.6%と高い。

表2-5

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
利用したい	605	36.7%	450	23.7%
利用したくない（定額が良い）	455	27.6%	980	51.6%
現在利用している	9	0.5%	37	1.9%
よくわからない	579	35.1%	431	22.7%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

(6) 年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係

奨学生本人の年収と所得連動返還方式を利用したいと思うかとの関係をみると、延滞者では年収400万円

以下で「利用したい」と思う比率が高く、無延滞者では年収にかかわらず「利用したくない」と思う比率が高い。

表2-6-1 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【延滞者】

(単位：人)

年収 所得連動返還方式の利用	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	43	30.7%	95	41.5%	122	41.2%	141	41.7%
利用したくない (定額が良い)	21	15.0%	53	23.1%	59	19.9%	94	27.8%
現在利用している	1	0.7%	1	0.4%	1	0.3%	2	0.6%
よくわからない	75	53.6%	80	34.9%	114	38.5%	101	29.9%
計	140	100.0%	229	100.0%	296	100.0%	338	100.0%

年収 所得連動返還方式の利用	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	112	38.0%	50	31.8%	18	27.7%	7	17.5%
利用したくない (定額が良い)	95	32.2%	63	40.1%	25	38.5%	16	40.0%
現在利用している	3	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%
よくわからない	85	28.8%	44	28.0%	22	33.8%	16	40.0%
計	295	100.0%	157	100.0%	65	100.0%	40	100.0%

年収 所得連動返還方式の利用	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	2	10.5%	3	27.3%	1	7.7%	11	24.4%
利用したくない (定額が良い)	13	68.4%	3	27.3%	6	46.2%	7	15.6%
現在利用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
よくわからない	4	21.1%	5	45.5%	6	46.2%	27	60.0%
計	19	100.0%	11	100.0%	13	100.0%	45	100.0%

表2-6-2 年収×所得連動返還方式を利用したいと思うか【無延滞者】

(単位：人)

所得連動返還方式の利用 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	9	16.1%	27	33.3%	42	30.0%	96	25.7%
利用したくない (定額が良い)	28	50.0%	30	37.0%	62	44.3%	169	45.2%
現在利用している	1	1.8%	1	1.2%	1	0.7%	7	1.9%
よくわからない	18	32.1%	23	28.4%	35	25.0%	102	27.3%
計	56	100.0%	81	100.0%	140	100.0%	374	100.0%

所得連動返還方式の利用 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	95	22.1%	72	22.8%	52	24.1%	18	17.5%
利用したくない (定額が良い)	236	55.0%	170	53.8%	114	52.8%	61	59.2%
現在利用している	10	2.3%	6	1.9%	7	3.2%	2	1.9%
よくわからない	88	20.5%	68	21.5%	43	19.9%	22	21.4%
計	429	100.0%	316	100.0%	216	100.0%	103	100.0%

所得連動返還方式の利用 年収	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
利用したい	20	25.3%	3	10.0%	10	21.7%	6	21.4%
利用したくない (定額が良い)	45	57.0%	23	76.7%	29	63.0%	13	46.4%
現在利用している	0	0.0%	1	3.3%	1	2.2%	0	0.0%
よくわからない	14	17.7%	3	10.0%	6	13.0%	9	32.1%
計	79	100.0%	30	100.0%	46	100.0%	28	100.0%

(7)日本学生支援機構からの情報提供は十分と思うか（択一）

日本学生支援機構からの奨学金の返還に関する情報提供について、十分だと思う者（「十分だと思う」＋「まあそう思う」）は、延滞者は全体で48.6%、無延滞者は全体で51.2%である。

また、採用年別で比較すると、採用から10年以内の者の方が、十分だと思う比率が高い。

表2-7-1【延滞者】

（単位：人）

区分	延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
十分だと思う	240	21.5%	162	30.3%	402	24.4%	48.6%
まあそう思う	268	24.1%	131	24.5%	399	24.2%	
どちらともいえない	376	33.8%	150	28.1%	526	31.9%	31.9%
そう思わない	112	10.1%	52	9.7%	164	10.0%	19.5%
全くそう思わない	118	10.6%	39	7.3%	157	9.5%	
計	1,114	100.0%	534	100.0%	1,648	100.0%	100.0%

表2-7-2【無延滞者】

（単位：人）

区分	無延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
十分だと思う	200	20.4%	227	24.7%	427	22.5%	51.2%
まあそう思う	252	25.7%	293	31.9%	545	28.7%	
どちらともいえない	314	32.0%	271	29.5%	585	30.8%	30.8%
そう思わない	120	12.2%	87	9.5%	207	10.9%	18.0%
全くそう思わない	94	9.6%	40	4.4%	134	7.1%	
計	980	100.0%	918	100.0%	1,898	100.0%	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う	291	20.2%	284	18.2%	367	20.4%	377	18.5%
まあそう思う	348	24.1%	374	23.9%	458	25.5%	487	23.9%
どちらともいえない	527	36.6%	576	36.9%	639	35.5%	736	36.1%
そう思わない	171	11.9%	204	13.1%	194	10.8%	274	13.4%
全くそう思わない	104	7.2%	125	8.0%	140	7.8%	165	8.1%
計	1,441	100.0%	1,563	100.0%	1,798	100.0%	2,039	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
十分だと思う	211	15.4%	241	17.2%	313	18.4%	324	16.3%
まあそう思う	421	30.8%	450	32.1%	554	32.5%	732	36.9%
どちらともいえない	499	36.5%	500	35.6%	568	33.4%	671	33.8%
そう思わない	167	12.2%	160	11.4%	197	11.6%	191	9.6%
全くそう思わない	68	5.0%	53	3.8%	71	4.2%	66	3.3%
計	1,366	100.0%	1,404	100.0%	1,703	100.0%	1,984	100.0%

奨学金の返還に関する情報提供について、ホームページや印刷・郵送物以外で受け取りやすい
(認知しやすい) と思う提供方法について質問した。

「SNS・動画配信サービス」と回答した比率が、延滞者は81.1%、無延滞者は83.3%で最も高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-7-3

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
SNS・動画配信サービス	1,337	81.1%	1,581	83.3%
上記以外のインターネットの広告	367	22.3%	417	22.0%
テレビCM	326	19.8%	455	24.0%
新聞広告	76	4.6%	94	5.0%
雑誌	46	2.8%	47	2.5%
電車・バスの中吊り広告	143	8.7%	206	10.9%
その他	124	7.5%	138	7.3%
回答者数	1,648	-	1,898	-

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」（平成26年12月27日閣議決定）により、地元企業に就職した方の奨学金返還を支援する制度について、約90%程度の者が「知らない」と回答している。

表2-7-4

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
知っている	126	7.6%	254	13.4%
知らない	1,515	91.9%	1,631	85.9%
制度を利用している	7	0.4%	13	0.7%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

「企業の代理返還制度」について、80%以上の者が「知らない」と回答しており、「制度を利用している」と回答した者は1%に満たない。

表2-7-5

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
知っている	184	11.2%	354	18.7%
知らない	1,458	88.5%	1,534	80.8%
制度を利用している	6	0.4%	10	0.5%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

(8)月々の家計の支出における奨学金返還の優先度（複数回答）

月々の家計の支出における奨学金返還の優先度について、延滞者では「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」が47.8%、「他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される」が35.1%に対し、無延滞者では92.7%が「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」と回答している。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-8

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	787	47.8%	1,760	92.7%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	578	35.1%	184	9.7%
食費の方が優先される	474	28.8%	163	8.6%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	437	26.5%	137	7.2%
交際費の方が優先される	78	4.7%	44	2.3%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	52	3.2%	52	2.7%
返還期限猶予（申請）中	216	13.1%	7	0.4%
支払っていない	504	30.6%	8	0.4%
回答者数	1,648		1,898	

(9) 年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係（複数回答）

奨学生本人の年収と月々の家計の支出における奨学金返還の優先度との関係をみると、延滞者・無延滞者いずれも、全ての年収帯で「固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの」の割合が高い。

※比率は（８）の回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-9-1 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【延滞者】

（単位：人）

<div> <div>年収</div> <div>奨学金返還の優先度</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	38	2.3%	92	5.6%	138	8.4%	150	9.1%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	13	0.8%	65	3.9%	101	6.1%	139	8.4%
食費の方が優先される	26	1.6%	69	4.2%	89	5.4%	106	6.4%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	20	1.2%	62	3.8%	81	4.9%	98	5.9%
交際費の方が優先される	3	0.2%	8	0.5%	16	1.0%	12	0.7%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	13	0.8%	8	0.5%	7	0.4%	8	0.5%
返還期限猶予（申請）中	44	2.7%	51	3.1%	50	3.0%	36	2.2%
支払っていない	64	3.9%	85	5.2%	91	5.5%	109	6.6%
回答者数	140		229		296		338	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	162	9.8%	93	5.6%	38	2.3%	25	1.5%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	114	6.9%	71	4.3%	30	1.8%	19	1.2%
食費の方が優先される	89	5.4%	49	3.0%	13	0.8%	11	0.7%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	101	6.1%	38	2.3%	12	0.7%	9	0.5%
交際費の方が優先される	19	1.2%	9	0.5%	2	0.1%	5	0.3%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	7	0.4%	0	0.0%	5	0.3%	2	0.1%
返還期限猶予（申請）中	17	1.0%	7	0.4%	4	0.2%	0	0.0%
支払っていない	83	5.0%	38	2.3%	11	0.7%	2	0.1%
回答者数	295		157		65		40	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	10	0.6%	8	0.5%	9	0.5%	24	1.5%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	9	0.5%	2	0.1%	7	0.4%	8	0.5%
食費の方が優先される	8	0.5%	0	0.0%	3	0.2%	11	0.7%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	6	0.4%	0	0.0%	2	0.1%	8	0.5%
交際費の方が優先される	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
返還期限猶予（申請）中	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	6	0.4%
支払っていない	4	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	13	0.8%
回答者数	19		11		13		45	

表2-9-2 年収×月々の家計の支出における奨学金返還の優先度【無延滞者】

(単位：人)

<div> <div>年収</div> <div>奨学金返還の優先度</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	50	2.6%	68	3.6%	127	6.7%	344	18.1%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	5	0.3%	11	0.6%	15	0.8%	47	2.5%
食費の方が優先される	4	0.2%	11	0.6%	13	0.7%	40	2.1%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	3	0.2%	7	0.4%	12	0.6%	34	1.8%
交際費の方が優先される	0	0.0%	2	0.1%	2	0.1%	10	0.5%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	2	0.1%	8	0.4%	5	0.3%	14	0.7%
返還期限猶予（申請）中	1	0.1%	1	0.1%	1	0.1%	3	0.2%
支払っていない	0	0.0%	2	0.1%	0	0.0%	3	0.2%
回答者数	56		81		140		374	

年収 奨学金返還の優先度	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	400	21.1%	290	15.3%	210	11.1%	100	5.3%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	43	2.3%	27	1.4%	13	0.7%	8	0.4%
食費の方が優先される	33	1.7%	27	1.4%	15	0.8%	10	0.5%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	32	1.7%	21	1.1%	10	0.5%	9	0.5%
交際費の方が優先される	16	0.8%	3	0.2%	4	0.2%	3	0.2%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	9	0.5%	11	0.6%	1	0.1%	1	0.1%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
支払っていない	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
回答者数	429		316		216		103	

年収 奨学金返還の優先度	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
固定支出額として家賃・光熱費等と同様に毎月支払うもの	74	3.9%	29	1.5%	45	2.4%	23	1.2%
他の借金やクレジットカード、住宅ローン以外のローン返済の方が優先される	7	0.4%	2	0.1%	3	0.2%	3	0.2%
食費の方が優先される	5	0.3%	1	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
携帯電話料金の支払いの方が優先される	3	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	2	0.1%
交際費の方が優先される	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	2	0.1%
親や配偶者等が返還について管理しているためわからない	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
返還期限猶予（申請）中	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
支払っていない	1	0.1%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%
回答者数	79		30		46		28	

(10)繰上返還を利用したことがあるか（択一）

無延滞の者に対し、繰上返還を利用したことがあるか質問したところ、「ない」が全体で72.0%と最も高かった。

表2-10-1【無延滞者】

（単位：人）

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	106	10.8%	58	6.3%	164	8.6%
ない	712	72.7%	654	71.2%	1,366	72.0%
制度を知らない	162	16.5%	206	22.4%	368	19.4%
計	980	100.0%	918	100.0%	1,898	100.0%

繰上返還を行った理由（複数回答可）については、それぞれ「早く返したかった」が70.8%、62.1%で最も高く、次いで「資金に余裕ができた」が48.1%、37.9%で高かった。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表2-10-2【無延滞者】

（単位：人）

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
資金に余裕ができた	51	48.1%	22	37.9%	73	44.5%
早く返したかった	75	70.8%	36	62.1%	111	67.7%
親・家族等から資金援助があった	19	17.9%	7	12.1%	26	15.9%
奨学金の残りがあった	5	4.7%	7	12.1%	12	7.3%
延滞する前に払い終わりたかった	1	0.9%	0	0.0%	1	0.6%
回答者数	106		58		164	

(11) 年収と繰上返済の利用との関係

奨学生本人の年収と繰上返済の利用有無との関係を見ると、以下のとおりとなった。

表2-11 年収×繰上返済の利用有無【無延滞者】

(単位：人)

繰上返済の利用 年収	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	4	7.1%	3	3.7%	12	8.6%	23	6.1%
ない	40	71.4%	55	67.9%	87	62.1%	263	70.3%
制度を知らない	12	21.4%	23	28.4%	41	29.3%	88	23.5%
回答者数	56	100.0%	81	100.0%	140	100.0%	374	100.0%

繰上返済の利用 年収	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超～ 700万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	36	8.4%	32	10.1%	20	9.3%	17	16.5%
ない	315	73.4%	234	74.1%	161	74.5%	73	70.9%
制度を知らない	78	18.2%	50	15.8%	35	16.2%	13	12.6%
回答者数	429		316		216		103	

繰上返済の利用 年収	700万円超～ 800万円以下		800万円超～ 900万円以下		900万円超		わからない	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
ある	10	12.7%	3	10.0%	4	8.7%	0	0.0%
ない	56	70.9%	24	80.0%	35	76.1%	23	82.1%
制度を知らない	13	16.5%	3	10.0%	7	15.2%	5	17.9%
回答者数	79		30		46		28	

(12)将来の返還額のシミュレーションを行ったか（択一）

申込時や貸与中に、将来の返還額のシミュレーションを行ったか質問をしたところ、延滞者は59.0%、無延滞者は51.1%が、「行わなかった」と回答している。

表2-12

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
行った	325	19.7%	732	38.6%
行わなかった	972	59.0%	970	51.1%
行いたかったが、やり方がわからなかったため、行わなかった	351	21.3%	196	10.3%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

採用年別で比較すると、無延滞者のうち、採用から10年以内の者は46.1%が、「行った」と回答している。

表2-12（参考）

(単位：人)

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
行った	201	18.0%	124	23.2%	309	31.5%	423	46.1%
行わなかった	695	62.4%	277	51.9%	577	58.9%	393	42.8%
行いたかったが、やり方がわからなかったため、行わなかった	218	19.6%	133	24.9%	94	9.6%	102	11.1%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	980	100.0%	918	100.0%

3 奨学生本人の職業について

(1)奨学生本人の職業（択一）

奨学生本人の職業は、延滞者は全体で「正社（職）員・従業員」46.2%、「非正規社（職）員・従業員」27.4%、「無職・失業中／休職中」13.2%であるのに対し、無延滞者は全体で「正社（職）員・従業員」79.0%、「非正規社（職）員・従業員」11.9%、「無職・失業中／休職中」4.1%で、無延滞者の方が延滞者より安定した就業状況にあるといえる。

表3-1-1

（単位：人）

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	761	46.2%	1,499	79.0%
非正規社（職）員・従業員	452	27.4%	225	11.9%
自営業／家業	140	8.5%	46	2.4%
学生（留学を含む）	13	0.8%	11	0.6%
専業主婦（夫）	35	2.1%	28	1.5%
無職・失業中／休職中	218	13.2%	78	4.1%
その他	29	1.8%	11	0.6%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

（単位：人）

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	597	40.8%	655	41.1%	725	39.9%	856	41.0%
非正規社（職）員・従業員	407	27.8%	449	28.2%	543	29.9%	600	28.7%
自営業／家業	122	8.3%	136	8.5%	138	7.6%	150	7.2%
学生（留学を含む）	9	0.6%	7	0.4%	8	0.4%	10	0.5%
専業主婦（夫）	48	3.3%	38	2.4%	60	3.3%	81	3.9%
無職・失業中／休職中	234	16.0%	261	16.4%	286	15.7%	337	16.1%
その他	45	3.1%	47	3.0%	58	3.2%	55	2.6%
計	1,462	100.0%	1,593	100.0%	1,818	100.0%	2,089	100.0%

【無延滞者】

（単位：人）

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,041	73.7%	1,051	74.5%	1,276	74.5%	1,546	76.6%
非正規社（職）員・従業員	176	12.5%	185	13.1%	226	13.2%	253	12.5%
自営業／家業	49	3.5%	39	2.8%	50	2.9%	50	2.5%
学生（留学を含む）	17	1.2%	22	1.6%	19	1.1%	22	1.1%
専業主婦（夫）	40	2.8%	39	2.8%	66	3.9%	60	3.0%
無職・失業中／休職中	72	5.1%	59	4.2%	60	3.5%	68	3.4%
その他	17	1.2%	16	1.1%	15	0.9%	19	0.9%
計	1,412	100.0%	1,411	100.0%	1,712	100.0%	2,018	100.0%

男女別でみると、延滞者の女性で「非正規社（職）員・従業員」の比率が高い。

表3-1-2【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	470	54.7%	291	36.9%	761	46.2%
非正規社（職）員・従業員	168	19.6%	284	36.0%	452	27.4%
自営業／家業	95	11.1%	45	5.7%	140	8.5%
学生（留学を含む）	4	0.5%	9	1.1%	13	0.8%
専業主婦（夫）	1	0.1%	34	4.3%	35	2.1%
無職・失業中／休職中	106	12.3%	112	14.2%	218	13.2%
その他	15	1.7%	14	1.8%	29	1.8%
計	859	100.0%	789	100.0%	1,648	100.0%

表3-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	823	86.4%	676	71.5%	1,499	79.0%
非正規社（職）員・従業員	61	6.4%	164	17.4%	225	11.9%
自営業／家業	34	3.6%	12	1.3%	46	2.4%
学生（留学を含む）	5	0.5%	6	0.6%	11	0.6%
専業主婦（夫）	1	0.1%	27	2.9%	28	1.5%
無職・失業中／休職中	25	2.6%	53	5.6%	78	4.1%
その他	4	0.4%	7	0.7%	11	0.6%
計	953	100.0%	945	100.0%	1,898	100.0%

(2)年齢と職業との関係

奨学生本人の年齢と職業との関係を見ると、無延滞者は20代以下から40代まで「正社（職）員・従業員」の比率が80%程度だが、延滞者は40%～50%程度にとどまっている。そして、延滞者では「非正規社（職）員・従業員」の割合が全ての年代で20%～30%となっており、無延滞者の割合と比較すると高い。

表3-2-1 年齢×職業【延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	194	43.3%	316	53.2%	181	47.6%	70	31.0%
非正規社（職）員・従業員	143	31.9%	134	22.6%	107	28.2%	68	30.1%
自営業／家業	20	4.5%	56	9.4%	31	8.2%	33	14.6%
学生（留学を含む）	9	2.0%	3	0.5%	1	0.3%	0	0.0%
専業主婦（夫）	7	1.6%	19	3.2%	5	1.3%	4	1.8%
無職・失業中／休職中	71	15.8%	61	10.3%	41	10.8%	45	19.9%
その他	4	0.9%	5	0.8%	14	3.7%	6	2.7%
計	448	100.0%	594	100.0%	380	100.0%	226	100.0%

表3-2-2 年齢×職業【無延滞者】

(単位：人)

年齢 職業	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	608	78.9%	768	80.3%	116	77.3%	7	33.3%
非正規社（職）員・従業員	91	11.8%	108	11.3%	21	14.0%	5	23.8%
自営業／家業	8	1.0%	23	2.4%	8	5.3%	7	33.3%
学生（留学を含む）	10	1.3%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦（夫）	9	1.2%	15	1.6%	4	2.7%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	39	5.1%	36	3.8%	1	0.7%	2	9.5%
その他	6	0.8%	5	0.5%	0	0.0%	0	0.0%
計	771	100.0%	956	100.0%	150	100.0%	21	100.0%

(3)学種と職業との関係

奨学生本人の学種と職業との関係をみると、無延滞者は学種に関係なく「正社（職）員・従業員」の比率が70～80%程度であるのに対し、延滞者では学種により傾向が異なる。

表3-3-1 学種×職業【延滞者】

(単位：人)

学種 職業	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	26	30.6%	1	50.0%	43	36.4%
非正規社（職）員・従業員	26	30.6%	0	0.0%	46	39.0%
自営業／家業	9	10.6%	0	0.0%	3	2.5%
学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	4	3.4%
専業主婦（夫）	4	4.7%	0	0.0%	3	2.5%
無職・失業中／休職中	17	20.0%	0	0.0%	16	13.6%
その他	3	3.5%	1	50.0%	3	2.5%
計	85	100.0%	2	100.0%	118	100.0%

学種 職業	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	486	51.8%	21	38.2%	184	41.2%	0	0.0%
非正規社（職）員・従業員	223	23.7%	13	23.6%	144	32.2%	0	0.0%
自営業／家業	94	10.0%	8	14.5%	26	5.8%	0	0.0%
学生（留学を含む）	8	0.9%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%
専業主婦（夫）	13	1.4%	1	1.8%	13	2.9%	1	50.0%
無職・失業中／休職中	103	11.0%	10	18.2%	71	15.9%	1	50.0%
その他	12	1.3%	2	3.6%	8	1.8%	0	0.0%
計	939	100.0%	55	100.0%	447	100.0%	2	100.0%

表3-3-2 学種×職業【無延滞者】

(単位：人)

学種 職業	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	4	80.0%	67	89.3%	63	73.3%
非正規社（職）員・従業員	1	20.0%	3	4.0%	13	15.1%
自営業／家業	0	0.0%	3	4.0%	1	1.2%
学生（留学を含む）	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
専業主婦（夫）	0	0.0%	0	0.0%	1	1.2%
無職・失業中／休職中	0	0.0%	1	1.3%	6	7.0%
その他	0	0.0%	1	1.3%	2	2.3%
計	5	100.0%	75	100.0%	86	100.0%

学種 職業	大学		大学院		専修学校 専門課程		専修学校 高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
正社（職）員・従業員	1,005	80.7%	145	86.8%	215	67.4%	0	0.0%
非正規社（職）員・従業員	133	10.7%	12	7.2%	63	19.7%	0	0.0%
自営業／家業	24	1.9%	4	2.4%	14	4.4%	0	0.0%
学生（留学を含む）	10	0.8%	0	0.0%	1	0.3%	0	0.0%
専業主婦（夫）	20	1.6%	0	0.0%	7	2.2%	0	0.0%
無職・失業中／休職中	49	3.9%	4	2.4%	18	5.6%	0	0.0%
その他	5	0.4%	2	1.2%	1	0.3%	0	0.0%
計	1,246	100.0%	167	100.0%	319	100.0%	0	0.0%

4 奨学生本人の年収について

(1)奨学生本人の年収（択一）

奨学生本人の年収について、「300万円以下」の比率は、延滞者では合計60.9%であるのに対し、無延滞者では合計34.3%である。

表4-1-1

(単位：人)

区分	延滞者			無延滞者		
	人数	比率		人数	比率	
0円	140	8.5%	60.9%	56	3.0%	34.3%
100万円以下	229	13.9%		81	4.3%	
100万円超～200万円以下	296	18.0%		140	7.4%	
200万円超～300万円以下	338	20.5%		374	19.7%	
300万円超～400万円以下	295	17.9%	36.4%	429	22.6%	64.2%
400万円超～500万円以下	157	9.5%		316	16.6%	
500万円超～600万円以下	65	3.9%		216	11.4%	
600万円超～700万円以下	40	2.4%		103	5.4%	
700万円超～800万円以下	19	1.2%		79	4.2%	
800万円超～900万円以下	11	0.7%		30	1.6%	
900万円超	13	0.8%		46	2.4%	
わからない	45	2.7%	2.7%	28	1.5%	1.5%
計	1,648	100.0%	100.0%	1,898	100.0%	100.0%

男女別でみると、延滞者、無延滞者ともに、男性より女性の方が収入の低い区分の比率が高く、特に延滞者の女性で「200万円以下」の比率が高い。

表4-1-2【延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	62	7.2%	78	9.9%	140	8.5%	60.9%
100万円以下	86	10.0%	143	18.1%	229	13.9%	
100万円超～200万円以下	114	13.3%	182	23.1%	296	18.0%	
200万円超～300万円以下	162	18.9%	176	22.3%	338	20.5%	
300万円超～400万円以下	179	20.8%	116	14.7%	295	17.9%	36.4%
400万円超～500万円以下	111	12.9%	46	5.8%	157	9.5%	
500万円超～600万円以下	45	5.2%	20	2.5%	65	3.9%	
600万円超～700万円以下	34	4.0%	6	0.8%	40	2.4%	
700万円超～800万円以下	19	2.2%	0	0.0%	19	1.2%	
800万円超～900万円以下	10	1.2%	1	0.1%	11	0.7%	
900万円超	12	1.4%	1	0.1%	13	0.8%	
わからない	25	2.9%	20	2.5%	45	2.7%	2.7%
計	859	100.0%	789	100.0%	1,648	100.0%	100.0%

表4-1-3【無延滞者：男女別】

(単位：人)

区分	男		女		計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
0円	11	1.2%	45	4.8%	56	3.0%	34.3%
100万円以下	27	2.8%	54	5.7%	81	4.3%	
100万円超～200万円以下	34	3.6%	106	11.2%	140	7.4%	
200万円超～300万円以下	128	13.4%	246	26.0%	374	19.7%	
300万円超～400万円以下	193	20.3%	236	25.0%	429	22.6%	64.2%
400万円超～500万円以下	172	18.0%	144	15.2%	316	16.6%	
500万円超～600万円以下	148	15.5%	68	7.2%	216	11.4%	
600万円超～700万円以下	83	8.7%	20	2.1%	103	5.4%	
700万円超～800万円以下	71	7.5%	8	0.8%	79	4.2%	
800万円超～900万円以下	26	2.7%	4	0.4%	30	1.6%	
900万円超	43	4.5%	3	0.3%	46	2.4%	
わからない	17	1.8%	11	1.2%	28	1.5%	1.5%
計	953	100.0%	945	100.0%	1,898	100.0%	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	162	11.1%	67.3%	192	12.1%	69.0%	207	11.4%	68.2%
100万円以下	232	15.9%		240	15.1%		284	15.7%	
100万円超～200万円以下	257	17.6%		306	19.3%		350	19.3%	
200万円超～300万円以下	330	22.6%		355	22.4%		395	21.8%	
300万円超～400万円以下	211	14.5%	29.0%	243	15.3%	28.3%	260	14.3%	28.0%
400万円超～500万円以下	101	6.9%		96	6.1%		108	6.0%	
500万円超～600万円以下	61	4.2%		48	3.0%		71	3.9%	
600万円超～700万円以下	23	1.6%		29	1.8%		34	1.9%	
700万円超～800万円以下	11	0.8%		10	0.6%		13	0.7%	
800万円超～900万円以下	8	0.5%		8	0.5%		5	0.3%	
900万円超	8	0.5%		15	0.9%		16	0.9%	
わからない	53	3.6%	3.6%	43	2.7%	2.7%	69	3.8%	3.8%
計	1,457	100.0%	100.0%	1,585	100.0%	100.0%	1,812	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
0円	63	4.5%	38.6%	62	4.4%	40.0%	93	5.5%	42.9%
100万円以下	76	5.4%		79	5.6%		100	5.9%	
100万円超～200万円以下	110	7.8%		144	10.2%		162	9.5%	
200万円超～300万円以下	293	20.9%		279	19.8%		375	22.0%	
300万円超～400万円以下	298	21.2%	59.4%	327	23.2%	58.3%	356	20.9%	54.5%
400万円超～500万円以下	231	16.4%		194	13.8%		242	14.2%	
500万円超～600万円以下	128	9.1%		131	9.3%		153	9.0%	
600万円超～700万円以下	80	5.7%		78	5.5%		64	3.8%	
700万円超～800万円以下	39	2.8%		30	2.1%		39	2.3%	
800万円超～900万円以下	21	1.5%		15	1.1%		26	1.5%	
900万円超	37	2.6%		46	3.3%		47	2.8%	
わからない	29	2.1%	2.1%	24	1.7%	1.7%	45	2.6%	2.6%
計	1,405	100.0%	100.0%	1,409	100.0%	100.0%	1,702	100.0%	100.0%

(2)職業と年収との関係

奨学生本人の職業と年収の関係をみると、延滞者の「正社（職）員・従業員」は、「200万円超～400万円以下」の比率が高く、無延滞者の「正社（職）員・従業員」は、「300万円超～500万円以下」の比率が高い。

「非正規社（職）員・従業員」については、延滞者、無延滞者いずれにおいても「100万円超～200万円以下」の比率が高い。

表4-2-1 職業×年収【延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	2	0.3%	2	0.4%	5	3.6%
100万円以下	6	0.8%	107	23.7%	32	22.9%
100万円超～200万円以下	58	7.6%	171	37.8%	37	26.4%
200万円超～300万円以下	175	23.0%	111	24.6%	36	25.7%
300万円超～400万円以下	233	30.6%	40	8.8%	12	8.6%
400万円超～500万円以下	140	18.4%	7	1.5%	6	4.3%
500万円超～600万円以下	60	7.9%	1	0.2%	3	2.1%
600万円超～700万円以下	35	4.6%	2	0.4%	2	1.4%
700万円超～800万円以下	19	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	9	1.2%	1	0.2%	1	0.7%
900万円超	11	1.4%	0	0.0%	1	0.7%
わからない	13	1.7%	10	2.2%	5	3.6%
計	761	100.0%	452	100.0%	140	100.0%

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	4	30.8%	24	68.6%	96	44.0%	7	24.1%
100万円以下	7	53.8%	8	22.9%	61	28.0%	8	27.6%
100万円超～200万円以下	2	15.4%	1	2.9%	22	10.1%	5	17.2%
200万円超～300万円以下	0	0.0%	0	0.0%	15	6.9%	1	3.4%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	1	2.9%	9	4.1%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	3	1.4%	1	3.4%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.4%
わからない	0	0.0%	1	2.9%	12	5.5%	4	13.8%
計	13	100.0%	35	100.0%	218	100.0%	29	100.0%

表4-2-2 職業×年収【無延滞者】

(単位：人)

職業 年収	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	4	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
100万円以下	6	0.4%	37	16.4%	7	15.2%
100万円超～200万円以下	50	3.3%	70	31.1%	9	19.6%
200万円超～300万円以下	267	17.8%	87	38.7%	8	17.4%
300万円超～400万円以下	395	26.4%	19	8.4%	5	10.9%
400万円超～500万円以下	301	20.1%	6	2.7%	5	10.9%
500万円超～600万円以下	210	14.0%	3	1.3%	2	4.3%
600万円超～700万円以下	97	6.5%	1	0.4%	3	6.5%
700万円超～800万円以下	78	5.2%	0	0.0%	1	2.2%
800万円超～900万円以下	30	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	42	2.8%	0	0.0%	4	8.7%
わからない	19	1.3%	2	0.9%	2	4.3%
計	1,499	100.0%	225	100.0%	46	100.0%

職業 年収	学生（留学を含む）		専業主婦（夫）		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	3	27.3%	22	78.6%	27	34.6%	0	0.0%
100万円以下	7	63.6%	5	17.9%	15	19.2%	4	36.4%
100万円超～200万円以下	1	9.1%	0	0.0%	8	10.3%	2	18.2%
200万円超～300万円以下	0	0.0%	0	0.0%	11	14.1%	1	9.1%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	0	0.0%	8	10.3%	2	18.2%
400万円超～500万円以下	0	0.0%	0	0.0%	4	5.1%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	0	0.0%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	18.2%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	1	3.6%	4	5.1%	0	0.0%
計	11	100.0%	28	100.0%	78	100.0%	11	100.0%

(3)年齢と年収との関係

奨学生本人の年齢と年収との関係を見ると、延滞者では年齢区分により年収にあまり変化がみられない。
無延滞者では、40代までは年齢が上がるにつれ年収が高くなる傾向にある。

表4-3-1 年齢×年収【延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	40	8.9%	37	6.2%	36	9.5%	27	11.9%
100万円以下	69	15.4%	68	11.4%	51	13.4%	41	18.1%
100万円超～200万円以下	108	24.1%	87	14.6%	51	13.4%	50	22.1%
200万円超～300万円以下	105	23.4%	135	22.7%	68	17.9%	30	13.3%
300万円超～400万円以下	72	16.1%	132	22.2%	56	14.7%	35	15.5%
400万円超～500万円以下	27	6.0%	70	11.8%	42	11.1%	18	8.0%
500万円超～600万円以下	7	1.6%	30	5.1%	19	5.0%	9	4.0%
600万円超～700万円以下	4	0.9%	9	1.5%	26	6.8%	1	0.4%
700万円超～800万円以下	1	0.2%	3	0.5%	9	2.4%	6	2.7%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	2	0.3%	8	2.1%	1	0.4%
900万円超	0	0.0%	4	0.7%	7	1.8%	2	0.9%
わからない	15	3.3%	17	2.9%	7	1.8%	6	2.7%
計	448	100.0%	594	100.0%	380	100.0%	226	100.0%

表4-3-2 年齢×年収【無延滞者】

(単位：人)

年齢 年収	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	24	3.1%	29	3.0%	3	2.0%	0	0.0%
100万円以下	31	4.0%	35	3.7%	12	8.0%	3	14.3%
100万円超～200万円以下	75	9.7%	55	5.8%	8	5.3%	2	9.5%
200万円超～300万円以下	227	29.4%	128	13.4%	14	9.3%	5	23.8%
300万円超～400万円以下	219	28.4%	193	20.2%	14	9.3%	3	14.3%
400万円超～500万円以下	104	13.5%	195	20.4%	17	11.3%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	58	7.5%	142	14.9%	15	10.0%	1	4.8%
600万円超～700万円以下	10	1.3%	76	7.9%	14	9.3%	3	14.3%
700万円超～800万円以下	4	0.5%	53	5.5%	22	14.7%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	4	0.5%	19	2.0%	7	4.7%	0	0.0%
900万円超	4	0.5%	17	1.8%	21	14.0%	4	19.0%
わからない	11	1.4%	14	1.5%	3	2.0%	0	0.0%
計	771	100.0%	956	100.0%	150	100.0%	21	100.0%

(4)学種と年収との関係

学種と奨学生本人の年収との関係を見ると、延滞者は、ほぼすべての学種で「300万円以下」の比率が20%程度となっている。無延滞者では、大学や大学院の年収が高い傾向にある。

表4-4-1 学種×年収【延滞者】

(単位：人)

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	16	18.8%	1	50.0%	10	8.5%
100万円以下	17	20.0%	0	0.0%	29	24.6%
100万円超～200万円以下	26	30.6%	0	0.0%	24	20.3%
200万円超～300万円以下	10	11.8%	0	0.0%	22	18.6%
300万円超～400万円以下	6	7.1%	1	50.0%	20	16.9%
400万円超～500万円以下	4	4.7%	0	0.0%	7	5.9%
500万円超～600万円以下	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	2	2.4%	0	0.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	3	3.5%	0	0.0%	6	5.1%
計	85	100.0%	2	100.0%	118	100.0%

学種 年収	大学		大学院		専修学校専門課程		専修学校高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	60	6.4%	3	5.5%	50	11.2%	0	0.0%
100万円以下	109	11.6%	9	16.4%	64	14.3%	1	50.0%
100万円超～200万円以下	145	15.4%	9	16.4%	92	20.6%	0	0.0%
200万円超～300万円以下	191	20.3%	6	10.9%	109	24.4%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	187	19.9%	8	14.5%	73	16.3%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	103	11.0%	7	12.7%	36	8.1%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	54	5.8%	3	5.5%	7	1.6%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	32	3.4%	3	5.5%	3	0.7%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	18	1.9%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	7	0.7%	2	3.6%	2	0.4%	0	0.0%
900万円超	12	1.3%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	21	2.2%	3	5.5%	11	2.5%	1	50.0%
計	939	100.0%	55	100.0%	447	100.0%	2	100.0%

表4-4-2 学種×年収【無延滞者】

(単位：人)

学種 年収	高等学校		高等専門学校		短期大学	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	0	0.0%	1	1.3%	3	3.5%
100万円以下	0	0.0%	1	1.3%	5	5.8%
100万円超～200万円以下	1	20.0%	4	5.3%	8	9.3%
200万円超～300万円以下	2	40.0%	9	12.0%	27	31.4%
300万円超～400万円以下	0	0.0%	7	9.3%	33	38.4%
400万円超～500万円以下	1	20.0%	20	26.7%	7	8.1%
500万円超～600万円以下	1	20.0%	18	24.0%	3	3.5%
600万円超～700万円以下	0	0.0%	6	8.0%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	0	0.0%	6	8.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
900万円超	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
わからない	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
計	5	100.0%	75	100.0%	86	100.0%

学種 年収	大学		大学院		専修学校専門課程		専修学校高等課程	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
0円	35	2.8%	1	0.6%	16	5.0%	0	0.0%
100万円以下	56	4.5%	3	1.8%	16	5.0%	0	0.0%
100万円超～200万円以下	70	5.6%	4	2.4%	53	16.6%	0	0.0%
200万円超～300万円以下	222	17.8%	5	3.0%	109	34.2%	0	0.0%
300万円超～400万円以下	302	24.2%	26	15.6%	61	19.1%	0	0.0%
400万円超～500万円以下	227	18.2%	24	14.4%	37	11.6%	0	0.0%
500万円超～600万円以下	151	12.1%	28	16.8%	15	4.7%	0	0.0%
600万円超～700万円以下	70	5.6%	21	12.6%	6	1.9%	0	0.0%
700万円超～800万円以下	51	4.1%	22	13.2%	0	0.0%	0	0.0%
800万円超～900万円以下	18	1.4%	11	6.6%	0	0.0%	0	0.0%
900万円超	26	2.1%	19	11.4%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	18	1.4%	3	1.8%	6	1.9%	0	0.0%
計	1,246	100.0%	167	100.0%	319	100.0%	0	0.0%

5 延滞の状況

(1)延滞している理由（複数回答）

調査時点で延滞中の者に、延滞している理由を質問した。

延滞している理由は、「本人の低所得」が62.8%で最も高い。次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が34.5%であり、男女別でみると、男性は女性に比べて比率が高い。

また、「奨学金の延滞額の増加」は男女ほぼ同率となっている。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-1-1 延滞している理由（複数回答）×男女別【延滞者】

（単位：人）

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	516	60.1%	519	65.8%	1,035	62.8%
本人が失業中（無職）	176	20.5%	144	18.3%	320	19.4%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	42	4.9%	37	4.7%	79	4.8%
本人の病気・けが	109	12.7%	117	14.8%	226	13.7%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	332	38.6%	236	29.9%	568	34.5%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	107	12.5%	101	12.8%	208	12.6%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	36	4.2%	50	6.3%	86	5.2%
本人の配偶者の経済困難	46	5.4%	69	8.7%	115	7.0%
家族の病気・介護	58	6.8%	63	8.0%	121	7.3%
忙しい（金融機関に行けない等）	71	8.3%	69	8.7%	140	8.5%
返還割賦額（月額）が高い	164	19.1%	163	20.7%	327	19.8%
奨学金の延滞額の増加	275	32.0%	237	30.0%	512	31.1%
特に明確な理由はないがなんとなく	10	1.2%	4	0.5%	14	0.8%
その他	77	9.0%	71	9.0%	148	9.0%
回答者数	859		789		1,648	

<参考> 過年度調査の結果【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	887	64.5%	933	62.9%	1,083	55.9%
本人の失業（無職）	361	26.3%	375	25.3%	442	22.8%
本人が学生（留学を含む）			8	0.5%	6	0.3%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	43	3.1%				
本人の病気・けが	233	16.9%	278	18.7%	272	14.0%
本人の借入金の返済	440	32.0%	462	31.2%	510	26.3%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	194	14.1%	244	16.5%	325	16.8%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	189	13.7%	198	13.4%	261	13.5%
本人の配偶者の経済困難	87	6.3%	89	6.0%	119	6.1%
家族の病気・介護	141	10.3%	158	10.7%	211	10.9%
忙しい（金融機関に行けない等）	85	6.2%	102	6.9%	94	4.9%
返還割賦額（月額）が高い	255	18.5%	283	19.1%	313	16.2%
奨学金の延滞額の増加	448	32.6%	522	35.2%	623	32.1%
特に明確な理由はないがなんとなく	18	1.3%				
奨学金は返還するものだとは思っていない			19	1.3%	20	1.0%
その他	127	9.2%	116	7.8%	172	8.9%
回答者数	1,375		1,483		1,938	

延滞している理由の中で最も大きな理由を質問したところ、男女ともに「本人の低所得」が高く、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が高い。

表5-1-2 延滞している最たる理由（択一）×男女別【延滞者】

(単位：人)

区分	男		女		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	328	38.2%	323	40.9%	651	39.5%
本人の失業（無職）	69	8.0%	78	9.9%	147	8.9%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	5	0.6%	6	0.8%	11	0.7%
本人の病気・けが	54	6.3%	51	6.5%	105	6.4%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	150	17.5%	99	12.5%	249	15.1%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	33	3.8%	36	4.6%	69	4.2%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	14	1.6%	21	2.7%	35	2.1%
本人の配偶者の経済困難	10	1.2%	23	2.9%	33	2.0%
家族の病気・介護	21	2.4%	23	2.9%	44	2.7%
忙しい（金融機関に行けない等）	24	2.8%	21	2.7%	45	2.7%
返還割賦額（月額）が高い	38	4.4%	20	2.5%	58	3.5%
奨学金の延滞額の増加	76	8.8%	60	7.6%	136	8.3%
特に明確な理由はないがなんとなく	5	0.6%	4	0.5%	9	0.5%
その他	32	3.7%	24	3.0%	56	3.4%
回答者数	859	100.0%	789	100.0%	1,648	100.0%

延滞している理由を「本人の低所得」と回答した者の年収をみると、「300万円以下」が72.0%を占める。

表5-1-3 「本人の低所得」×本人の年収【延滞者】

(単位：人)

区分	「本人の低所得」 と回答した者の年収			延滞者全体の年収（再掲）		
	人数	比率		人数	比率	
0円	46	4.4%	72.0%	140	8.5%	60.9%
100万円以下	187	18.1%		229	13.9%	
100万円超～200万円以下	262	25.3%		296	18.0%	
200万円超～300万円以下	250	24.2%		338	20.5%	
300万円超～400万円以下	174	16.8%	26.3%	295	17.9%	36.4%
400万円超～500万円以下	58	5.6%		157	9.5%	
500万円超～600万円以下	18	1.7%		65	3.9%	
600万円超～700万円以下	12	1.2%		40	2.4%	
700万円超～800万円以下	2	0.2%		19	1.2%	
800万円超～900万円以下	5	0.5%		11	0.7%	
900万円超	3	0.3%		13	0.8%	
わからない	18	1.7%	1.7%	45	2.7%	2.7%
計	1,035	100.0%	100.0%	1,648	100.0%	100.0%

(2)主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係

主に返還金を用意する人と延滞している理由との関係を見ると、主に返還金を用意する人が「奨学生本人」では延滞理由は「本人の低所得」が64.5%で最も高く、次いで「本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済」が37.3%である。また、主に返還金を用意する人が「本人の親」では、延滞理由は「本人の低所得」が46.7%で最も高く、次いで「本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）」が32.8%である。

主に返還金を用意する人が「本人の配偶者・パートナー」では、延滞理由は「本人の低所得」が56.3%で最も高く、次いで「本人が失業中」が43.8%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-2 主に返還金を用意する人×延滞している理由（複数回答）【延滞者】

（単位：人）

主に返還金を用意する人 延滞している理由	奨学生本人		本人の親		本人の配偶者（夫または妻）、パートナー	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	953	64.4%	64	46.7%	9	56.3%
本人が失業中（無職）	311	21.0%	32	23.4%	7	43.8%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	76	5.1%	2	1.5%	1	6.3%
本人の病気・けが	201	13.6%	19	13.9%	1	6.3%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	551	37.2%	21	15.3%	0	0.0%
本人の親の経済困難 （本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	187	12.6%	20	14.6%	2	12.5%
本人の親の経済困難 （本人の親が返還する約束をしている）	45	3.0%	45	32.8%	0	0.0%
本人の配偶者の経済困難	103	7.0%	5	3.6%	5	31.3%
家族の病気・介護	108	7.3%	11	8.0%	3	18.8%
忙しい（金融機関に行けない等）	133	9.0%	6	4.4%	2	12.5%
返還割賦額（月額）が高い	307	20.7%	15	10.9%	3	18.8%
奨学金の延滞額の増加	480	32.4%	33	24.1%	6	37.5%
特に明確な理由はないがなんとなく	12	0.8%	2	1.5%	0	0.0%
その他	133	9.0%	11	8.0%	4	25.0%
回答者数	1,480		137		16	

(3)年収と延滞している理由との関係

奨学生本人の年収と延滞している理由との関係を見ると、年収「0円」では延滞理由は「本人が失業中（無職）」が67.1%で最も高く、「1～400万円以下」では「本人の低所得」が、「400万円超」では「本人の借入金の返済」が高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-3 奨学生本人の年収×延滞している理由（複数回答）【延滞者】

（単位：人）

<div> <div>年収</div> <div>延滞している理由</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	46	32.9%	186	81.2%	262	88.5%	250	74.0%
本人が失業中（無職）	94	67.1%	82	35.8%	65	22.0%	46	13.6%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	5	3.6%	9	3.9%	13	4.4%	20	5.9%
本人の病気・けが	50	35.7%	54	23.6%	43	14.5%	27	8.0%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	10	7.1%	54	23.6%	87	29.4%	123	36.4%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	7	5.0%	29	12.7%	28	9.5%	49	14.5%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	14	10.0%	12	5.2%	13	4.4%	18	5.3%
本人の配偶者の経済困難	7	5.0%	21	9.2%	15	5.1%	19	5.6%
家族の病気・介護	12	8.6%	21	9.2%	17	5.7%	31	9.2%
忙しい（金融機関に行けない等）	4	2.9%	10	4.4%	25	8.4%	30	8.9%
返還割賦額（月額）が高い	12	8.6%	49	21.4%	53	17.9%	64	18.9%
奨学金の延滞額の増加	27	19.3%	71	31.0%	86	29.1%	121	35.8%
特に明確な理由はないがなんとなく	1	0.7%	2	0.9%	0	0.0%	2	0.6%
その他	15	10.7%	18	7.9%	21	7.1%	25	7.4%
回答者数	140		229		296		338	

<div> <div>年 収</div> <div>延滞している理由</div> </div>	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円以上・ その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	174	59.0%	58	36.9%	18	27.7%	40	31.3%
本人が失業中（無職）	33	11.2%	14	8.9%	3	4.6%	20	15.6%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	18	6.1%	8	5.1%	2	3.1%	6	4.7%
本人の病気・けが	26	8.8%	16	10.2%	3	4.6%	6	4.7%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	138	46.8%	82	52.2%	33	50.8%	47	36.7%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	36	12.2%	32	20.4%	14	21.5%	15	11.7%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	16	5.4%	2	1.3%	5	7.7%	10	7.8%
本人の配偶者の経済困難	24	8.1%	16	10.2%	3	4.6%	11	8.6%
家族の病気・介護	19	6.4%	12	7.6%	4	6.2%	6	4.7%
忙しい（金融機関に行けない等）	34	11.5%	12	7.6%	9	13.8%	18	14.1%
返還割賦額（月額）が高い	82	27.8%	36	22.9%	14	21.5%	19	14.8%
奨学金の延滞額の増加	103	34.9%	53	33.8%	28	43.1%	37	28.9%
特に明確な理由はないがなんとなく	5	1.7%	1	0.6%	0	0.0%	3	2.3%
その他	19	6.4%	22	14.0%	7	10.8%	25	19.5%
回答者数	295		157		65		128	

(4)職業と延滞している理由との関係

奨学生本人の職業と延滞している理由との関係を見ると、多くの職業区分において延滞理由は「本人の低所得」の比率が高く、特に「非正規社（職）員・従業員」、「自営業／家業」で高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-4 職業×延滞している理由（複数回答）【延滞者】

（単位：人）

職業 延滞している理由	正社（職）員 ・従業員		非正規社（職）員 ・従業員		自営業／家業	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	395	51.9%	381	84.3%	119	85.0%
本人が失業中（無職）	73	9.6%	84	18.6%	16	11.4%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	37	4.9%	28	6.2%	6	4.3%
本人の病気・けが	54	7.1%	60	13.3%	14	10.0%
本人の借入金（日本学生支援機構奨学金以外）の返済	337	44.3%	138	30.5%	66	47.1%
本人の親の経済困難 （本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	116	15.2%	55	12.2%	20	14.3%
本人の親の経済困難 （本人の親が返還する約束をしている）	38	5.0%	25	5.5%	4	2.9%
本人の配偶者の経済困難	67	8.8%	25	5.5%	9	6.4%
家族の病気・介護	54	7.1%	29	6.4%	14	10.0%
忙しい（金融機関に行けない等）	90	11.8%	28	6.2%	14	10.0%
返還割賦額（月額）が高い	163	21.4%	96	21.2%	32	22.9%
奨学金の延滞額の増加	262	34.4%	153	33.8%	48	34.3%
特に明確な理由はないがなんとなく	10	1.3%	1	0.2%	0	0.0%
その他	86	11.3%	29	6.4%	9	6.4%
回答者数	761		452		140	

職業 延滞している理由	学生 (留学を含む)		専業主婦 (夫)		無職・失業中 ／休職中		その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
本人の低所得	10	76.9%	18	51.4%	100	45.9%	12	41.4%
本人が失業中（無職）	3	23.1%	16	45.7%	158	72.5%	7	24.1%
督促等に応じて手続等をするのが面倒	1	7.7%	1	2.9%	7	3.2%	1	3.4%
本人の病気・けが	1	7.7%	4	11.4%	84	38.5%	8	27.6%
本人の借入金（機構奨学金以外）の返済	3	23.1%	2	5.7%	24	11.0%	4	13.8%
本人の親の経済困難（本人が親へ経済援助をしており支出が多い）	2	15.4%	3	8.6%	13	6.0%	1	3.4%
本人の親の経済困難（本人の親が返還する約束をしている）	2	15.4%	6	17.1%	11	5.0%	4	13.8%
本人の配偶者の経済困難	1	7.7%	7	20.0%	5	2.3%	2	6.9%
家族の病気・介護	0	0.0%	6	17.1%	18	8.3%	1	3.4%
忙しい（金融機関に行けない等）	2	15.4%	2	5.7%	5	2.3%	1	3.4%
返還割賦額（月額）が高い	2	15.4%	5	14.3%	25	11.5%	6	20.7%
奨学金の延滞額の増加	1	7.7%	7	20.0%	48	22.0%	6	20.7%
特に明確な理由はないがなんとなく	2	15.4%	0	0.0%	1	0.5%	0	0.0%
その他	2	15.4%	5	14.3%	14	6.4%	7	24.1%
回答者数	13		35		218		29	

(5)延滞経験の有無（択一）

調査時点で無延滞の者に、これまでに延滞したことがあるかを質問した。

「延滞したことがある」者は22.7%である。

表5-5【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	616	62.9%	696	75.8%	1,312	69.1%
延滞したことがある	267	27.2%	164	17.9%	431	22.7%
わからない	97	9.9%	58	6.3%	155	8.2%
計	980	100.0%	918	100.0%	1,898	100.0%

<参考> 過年度調査の結果【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
延滞したことがない	1,031	73.1%	1,035	73.2%	1,260	73.6%	1,511	75.0%
延滞したことがある	298	21.1%	291	20.6%	369	21.5%	399	19.8%
わからない	82	5.8%	87	6.2%	84	4.9%	104	5.2%
計	1,411	100.0%	1,413	100.0%	1,713	100.0%	2,014	100.0%

(6)延滞になったことを何で知ったか（複数回答）

「延滞したことがある」と回答した者に、延滞になったことを何で知ったかを質問した。

「機構からの振替不能（延滞）通知」が55.9%で最も高く、次いで「機構からの電話」42.2%である。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表5-6【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
機構からの振替不能（延滞）通知	155	58.1%	86	52.4%	241	55.9%
機構からの電話	102	38.2%	80	48.8%	182	42.2%
連帯保証人・保証人からの連絡	14	5.2%	4	2.4%	18	4.2%
口座残高を確認して	83	31.1%	47	28.7%	130	30.2%
親・家族等からの連絡	20	7.5%	8	4.9%	28	6.5%
債権回収会社からの連絡	29	10.9%	10	6.1%	39	9.0%
その他	7	2.6%	1	0.6%	8	1.9%
回答者数	267		164		431	

(7)延滞をしたときに最初にしたこと（択一）

調査時点で延滞中の者および無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に、延滞したときに最初に行ったことを質問した。

採用から10年超えの者で比較した場合、延滞者は「奨学金相談センターに電話した」が31.5%と最も高いのに対し、無延滞者では「入金した」が最も高い。

また、延滞者は「何もしなかった」と回答した者が11.9%であった。

表5-7-1【延滞者】

(単位：人)

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
入金した	174	15.6%	136	25.5%	310	18.8%
返還期限猶予を申請した	232	20.8%	84	15.7%	316	19.2%
「返還のてびき」をみた	40	3.6%	17	3.2%	57	3.5%
機構ホームページをみた	57	5.1%	54	10.1%	111	6.7%
奨学金相談センターに電話した	351	31.5%	82	15.4%	433	26.3%
文書・FAXで機構に相談した	8	0.7%	1	0.2%	9	0.5%
連帯保証人・保証人に相談した	28	2.5%	25	4.7%	53	3.2%
家族・親族（連帯保証人・保証人以外）に相談した	77	6.9%	60	11.2%	137	8.3%
その他	17	1.5%	9	1.7%	26	1.6%
何もしなかった	130	11.7%	66	12.4%	196	11.9%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	1,648	100.0%

表5-7-2【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
入金した	187	70.0%	126	76.8%	313	72.6%
返還期限猶予を申請した	21	7.9%	13	7.9%	34	7.9%
「返還のてびき」をみた	0	0.0%	1	0.6%	1	0.2%
機構ホームページをみた	12	4.5%	1	0.6%	13	3.0%
奨学金相談センターに電話した	24	9.0%	14	8.5%	38	8.8%
文書・FAXで機構に相談した	1	0.4%	0	0.0%	1	0.2%
連帯保証人・保証人に相談した	3	1.1%	1	0.6%	4	0.9%
家族・親族（連帯保証人・保証人以外）に相談した	9	3.4%	4	2.4%	13	3.0%
その他	10	3.7%	4	2.4%	14	3.2%
計	267	100.0%	164	100.0%	431	100.0%

(8)延滞を解消できた理由（択一）

調査時点で無延滞の者で、「延滞したことがある」と回答した者に、延滞を解消できた理由として最もあてはまるものを質問した。

「振替口座に入金を忘れた等の偶発的な延滞だった」が69.6%であり、高い割合となった。

表5-8【無延滞者】

（単位：人）

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
振替口座に入金を忘れた等の偶発的な延滞だった	186	69.7%	114	69.5%	300	69.6%
収入が増えた	15	5.6%	4	2.4%	19	4.4%
就職した	10	3.7%	5	3.0%	15	3.5%
親・家族からの資金援助があった	17	6.4%	18	11.0%	35	8.1%
一時的な収入があった	9	3.4%	9	5.5%	18	4.2%
返還期限猶予が承認された	17	6.4%	7	4.3%	24	5.6%
その他	13	4.9%	7	4.3%	20	4.6%
計	267	100.0%	164	100.0%	431	100.0%

6 返還期限猶予制度・減額返還制度について

(1) 返還期限猶予制度の認知状況（択一）

返還期限猶予制度の認知率は、延滞者で80.9%、無延滞者で62.6%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で41.7%であるのに対し、延滞者では10.9%と大きな差がみられる。

また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が50.2%と、無延滞者に比べて高い。

表6-1-1【延滞者】

(単位：人)

区分	延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		合計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	50	4.5%	54	10.1%	104	6.3%	80.9%
返還が始まる前に知っていた	35	3.1%	40	7.5%	75	4.6%	
返還が始まってから知った	227	20.4%	100	18.7%	327	19.8%	
延滞督促を受けてから知った	619	55.6%	208	39.0%	827	50.2%	
知らない	183	16.4%	132	24.7%	315	19.1%	19.1%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	1,648	100.0%	100.0%

表6-1-2【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		合計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	203	20.7%	268	29.2%	471	24.8%	62.6%
返還が始まる前に知っていた	127	13.0%	194	21.1%	321	16.9%	
返還が始まってから知った	225	23.0%	132	14.4%	357	18.8%	
延滞督促を受けてから知った	30	3.1%	9	1.0%	39	2.1%	
知らない	395	40.3%	315	34.3%	710	37.4%	37.4%
計	980	100.0%	918	100.0%	1,898	100.0%	100.0%

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	42	2.9%	78.3%	57	3.6%	80.5%	56	3.1%	79.1%
返還が始まる前には知っていた	36	2.5%		53	3.3%		58	3.2%	
返還が始まってから知った	267	18.5%		302	19.0%		338	18.7%	
延滞督促を受けてから知った	784	54.4%		867	54.6%		979	54.1%	
知らない	312	21.7%	21.7%	309	19.5%	19.5%	379	20.9%	20.9%
計	1,441	100.0%	100.0%	1,588	100.0%	100.0%	1,810	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	279	20.0%	60.1%	268	19.0%	59.3%	371	21.7%	61.8%
返還が始まる前に知っていた	262	18.8%		264	18.7%		328	19.2%	
返還が始まってから知った	263	18.9%		282	20.0%		318	18.6%	
延滞督促を受けてから知った	34	2.4%		23	1.6%		41	2.4%	
知らない	557	39.9%	39.9%	575	40.7%	40.7%	653	38.2%	38.2%
計	1,395	100.0%	100.0%	1,412	100.0%	100.0%	1,711	100.0%	100.0%

(2)年齢と返還期限猶予制度の認知状況との関係

奨学生本人の年齢と猶予制度の認知状況との関係を見ると、返還が始まる前までに猶予制度を認知していた比率が、他の年代に比べて20代以下で比較的高い。

表6-2-1 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	37	8.3%	42	7.1%	15	3.9%	10	4.4%
返還が始まる前に知っていた	32	7.1%	20	3.4%	13	3.4%	10	4.4%
返還が始まってから知った	85	19.0%	125	21.0%	82	21.6%	35	15.5%
延滞督促を受けてから知った	180	40.2%	303	51.0%	204	53.7%	140	61.9%
知らない	114	25.4%	104	17.5%	66	17.4%	31	13.7%
計	448	100.0%	594	100.0%	380	100.0%	226	100.0%

表6-2-2 年齢×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

認知状況 \ 年齢	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	233	30.2%	206	21.5%	23	15.3%	9	42.9%
返還が始まる前に知っていた	156	20.2%	143	15.0%	19	12.7%	3	14.3%
返還が始まってから知った	108	14.0%	206	21.5%	39	26.0%	4	19.0%
延滞督促を受けてから知った	7	0.9%	24	2.5%	7	4.7%	1	4.8%
知らない	267	34.6%	377	39.4%	62	41.3%	4	19.0%
計	771	100.0%	956	100.0%	150	100.0%	21	100.0%

(3)年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係

奨学生本人の年収と返還期限猶予制度の認知状況との関係をみると、延滞者では全年収を通じて「延滞督促を受けてから知った」比率が高い。

表6-3-1 年収×返還期限猶予制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

<div> <div>年収</div> <div>認知状況</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	8	5.7%	8	3.5%	19	6.4%	27	8.0%
返還が始まる前に知っていた	6	4.3%	11	4.8%	14	4.7%	13	3.8%
返還が始まってから知った	22	15.7%	53	23.1%	52	17.6%	67	19.8%
延滞督促を受けてから知った	82	58.6%	128	55.9%	148	50.0%	168	49.7%
知らない	22	15.7%	29	12.7%	63	21.3%	63	18.6%
計	140	100.0%	229	100.0%	296	100.0%	338	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>認知状況</div> </div>	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・ その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	18	6.1%	11	7.0%	6	9.2%	7	5.5%
返還が始まる前に知っていた	16	5.4%	5	3.2%	3	4.6%	7	5.5%
返還が始まってから知った	62	21.0%	35	22.3%	10	15.4%	26	20.3%
延滞督促を受けてから知った	146	49.5%	74	47.1%	27	41.5%	54	42.2%
知らない	53	18.0%	32	20.4%	19	29.2%	34	26.6%
計	295	100.0%	157	100.0%	65	100.0%	128	100.0%

表6-3-2 年収×返還期限猶予制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

<div> <div>年収</div> <div>認知状況</div> </div>	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	11	19.6%	15	18.5%	30	21.4%	107	28.6%
返還が始まる前に知っていた	9	16.1%	9	11.1%	18	12.9%	51	13.6%
返還が始まってから知った	11	19.6%	18	22.2%	30	21.4%	67	17.9%
延滞督促を受けてから知った	3	5.4%	4	4.9%	4	2.9%	11	2.9%
知らない	22	39.3%	35	43.2%	58	41.4%	138	36.9%
計	56	100.0%	81	100.0%	140	100.0%	374	100.0%

<div> <div>年収</div> <div>認知状況</div> </div>	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・ その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	105	24.5%	73	23.1%	53	24.5%	77	26.9%
返還が始まる前に知っていた	94	21.9%	59	18.7%	36	16.7%	45	15.7%
返還が始まってから知った	80	18.6%	65	20.6%	41	19.0%	45	15.7%
延滞督促を受けてから知った	7	1.6%	3	0.9%	2	0.9%	5	1.7%
知らない	143	33.3%	116	36.7%	84	38.9%	114	39.9%
計	429	100.0%	316	100.0%	216	100.0%	286	100.0%

(4)返還期限猶予制度を何で知ったか（複数回答）

返還期限猶予制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前までには知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、返還期限猶予制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」で猶予制度を知った比率が43.1%と最も高く、次いで、「返還のてびき」が18.1%となった。無延滞者は、「返還のてびき」で48.5%、「奨学金申請時・採用時の資料」で43.4%となり、返還前に認知されている比率が高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-4-1【延滞者】

（単位：人）

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	65	7.0%	60	14.9%	125	9.4%
返還のてびき	160	17.2%	81	20.1%	241	18.1%
機構のホームページ	147	15.8%	75	18.7%	222	16.7%
機構からの通知	445	47.8%	130	32.3%	575	43.1%
奨学金相談センター	168	18.0%	46	11.4%	214	16.1%
学校の説明会	12	1.3%	11	2.7%	23	1.7%
連帯保証人・保証人	20	2.1%	6	1.5%	26	2.0%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	40	4.3%	30	7.5%	70	5.3%
債権回収会社	134	14.4%	74	18.4%	208	15.6%
テレビ・新聞などのマスメディア	7	0.8%	5	1.2%	12	0.9%
スカラシップ・アドバイザー	8	0.9%	6	1.5%	14	1.1%
その他	22	2.4%	7	1.7%	29	2.2%
回答者数	931		402		1,333	

表6-4-2【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	227	38.8%	288	47.8%	515	43.4%
返還のてびき	276	47.2%	300	49.8%	576	48.5%
機構のホームページ	131	22.4%	101	16.7%	232	19.5%
機構からの通知	72	12.3%	36	6.0%	108	9.1%
奨学金相談センター	11	1.9%	4	0.7%	15	1.3%
学校の説明会	62	10.6%	131	21.7%	193	16.2%
連帯保証人・保証人	2	0.3%	2	0.3%	4	0.3%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	35	6.0%	42	7.0%	77	6.5%
債権回収会社	6	1.0%	0	0.0%	6	0.5%
テレビ・新聞などのマスメディア	20	3.4%	11	1.8%	31	2.6%
スカラシップ・アドバイザー	1	0.2%	3	0.5%	4	0.3%
その他	11	1.9%	7	1.2%	18	1.5%
回答者数	585		603		1,188	

＜参考＞ 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	78	7.1%	88	7.1%	99	7.2%
返還のてびき	140	12.7%	194	15.6%	231	16.7%
機構のホームページ	163	14.8%	180	14.5%	173	12.5%
機構からの通知	509	46.2%	585	47.1%	661	47.8%
奨学金相談センター	271	24.6%	270	21.7%	310	22.4%
学校の説明会	22	2.0%	32	2.6%	25	1.8%
連帯保証人・保証人	28	2.5%	29	2.3%	31	2.2%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	52	4.7%	60	4.8%	66	4.8%
債権回収会社	151	13.7%	174	14.0%	183	13.2%
テレビ・新聞などのマスメディア	9	0.8%	14	1.1%	12	0.9%
スカラシップ・アドバイザー	14	1.3%	13	1.0%	10	0.7%
その他	24	2.2%	24	1.9%	23	1.7%
回答者数	1,101		1,242		1,383	

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	340	41.3%	333	40.7%	386	37.4%
返還のてびき	370	44.9%	384	46.9%	444	43.1%
機構のホームページ	184	22.3%	105	12.8%	143	13.9%
機構からの通知	100	12.1%	37	4.5%	148	14.4%
奨学金相談センター	9	1.1%	4	0.5%	17	1.6%
学校の説明会	144	17.5%	84	10.3%	181	17.6%
連帯保証人・保証人	10	1.2%	2	0.2%	10	1.0%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	59	7.2%	20	2.4%	75	7.3%
債権回収会社	6	0.7%	0	0.0%	1	0.1%
テレビ・新聞などのマスメディア	26	3.2%	9	1.1%	27	2.6%
スカラシップ・アドバイザー	1	0.1%	3	0.4%	5	0.5%
その他	19	2.3%	1	0.1%	12	1.2%
回答者数	824		819		1,031	

延滞者に対して、返還期限猶予制度の利用状況を質問した。（択一）

「過去に利用したことはあるが、今は利用していない」が全体で32.0%で高く、次いで「申請したことがない」24.9%と高かった。

採用年別で見ると、採用から10年超えの者は「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」、採用から10年以内の者は「申請したことがない」が最も高い。

表6-4-3【延滞者】

（単位：人）

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
現在、利用中である	213	22.9%	62	15.4%	275	20.6%
申請の準備または検討をしている（書類不備で返送されて再提出準備中の場合を含む）	63	6.8%	75	18.7%	138	10.4%
過去に利用したことがあるが、今は利用していない	358	38.5%	68	16.9%	426	32.0%
申請したことはあるが、承認されなかった	82	8.8%	40	10.0%	122	9.2%
申請したことがない	183	19.7%	149	37.1%	332	24.9%
その他	32	3.4%	8	2.0%	40	3.0%
計	931	100.0%	402	100.0%	1,333	100.0%

「過去に利用したことがあるが、今は利用していない」または「申請したことがない」と回答した延滞者に対して、利用しない理由を質問した。（択一）

「返還期限猶予制度の基準に該当しないため」が29.9%で最も高く、次いで「手続きがよくわからない、よく知らなかったため」が23.4%と高かった。

表6-4-4【延滞者】

（単位：人）

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
返還期限猶予制度の基準に該当しないため	162	29.9%	65	30.0%	227	29.9%
延滞期間に関する証明書の取得が困難なため	21	3.9%	14	6.5%	35	4.6%
すでに猶予期間（通算120か月）を利用してしまったため	159	29.4%	13	6.0%	172	22.7%
猶予申請しないで返還する予定のため	61	11.3%	21	9.7%	82	10.8%
猶予申請手続きに手間がかかるため	42	7.8%	23	10.6%	65	8.6%
手続きがよくわからない、よく知らなかったため	96	17.7%	81	37.3%	177	23.4%
計	541	100.0%	217	100.0%	758	100.0%

(5)減額返還制度の認知状況（択一）

減額返還制度の認知率は、延滞者で57.4%、無延滞者で48.9%である。ただし、返還が始まる前までに認知していた比率は、無延滞者では合計で34.5%であるのに対し、延滞者では7.2%となっている。

また、延滞者では「延滞督促を受けてから知った」比率が35.6%と無延滞者に比べて高い。

表6-5-1【延滞者】

(単位：人)

区分	延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		合計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	43	3.9%	43	8.1%	86	5.2%	57.4%
返還が始まる前に知っていた	13	1.2%	20	3.7%	33	2.0%	
返還が始まってから知った	168	15.1%	73	13.7%	241	14.6%	
延滞督促を受けてから知った	438	39.3%	148	27.7%	586	35.6%	
知らない	452	40.6%	250	46.8%	702	42.6%	42.6%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	1,648	100.0%	100.0%

表6-5-2【無延滞者】

(単位：人)

区分	無延滞者						
	採用から10年超		採用から10年以内		合計		
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	158	16.1%	227	24.7%	385	20.3%	48.9%
返還が始まる前に知っていた	100	10.2%	170	18.5%	270	14.2%	
返還が始まってから知った	149	15.2%	98	10.7%	247	13.0%	
延滞督促を受けてから知った	17	1.7%	9	1.0%	26	1.4%	
知らない	556	56.7%	414	45.1%	970	51.1%	51.1%
計	980	100.0%	918	100.0%	1,898	100.0%	100.0%

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	40	2.8%	58.8%	47	3.1%	62.8%	38	2.2%	62.1%
返還が始まる前に知っていた	24	1.7%		27	1.8%		34	1.9%	
返還が始まってから知った	173	12.1%		226	14.7%		261	14.8%	
延滞督促を受けてから知った	606	42.3%		665	43.3%		761	43.2%	
知らない	591	41.2%	41.2%	571	37.2%	37.2%	667	37.9%	37.9%
計	1,434	100.0%	100.0%	1,536	100.0%	100.0%	1,761	100.0%	100.0%

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度			令和4年度			令和3年度		
	人数	比率		人数	比率		人数	比率	
奨学金に申し込む前から知っていた	232	16.8%	51.8%	209	15.6%	48.8%	295	18.0%	52.0%
返還が始まる前に知っていた	230	16.7%		205	15.3%		270	16.4%	
返還が始まってから知った	225	16.3%		220	16.4%		258	15.7%	
延滞督促を受けてから知った	28	2.0%		22	1.6%		31	1.9%	
知らない	665	48.2%	48.2%	688	51.2%	51.2%	789	48.0%	48.0%
計	1,380	100.0%	100.0%	1,344	100.0%	100.0%	1,643	100.0%	100.0%

(6)年齢と減額返還制度の認知状況との関係

年齢と減額返還制度の認知状況との関係をみると、延滞者では、年代に関係なく「延滞督促を受けてから知った」比率が高く、無延滞者では、返還が始まる前までに認知していた比率が高い。

表6-6-1 年齢×減額返還制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

年齢 認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	32	7.1%	40	6.7%	10	2.6%	4	1.8%
返還が始まる前に知っていた	15	3.3%	12	2.0%	5	1.3%	1	0.4%
返還が始まってから知った	60	13.4%	100	16.8%	51	13.4%	30	13.3%
延滞督促を受けてから知った	128	28.6%	215	36.2%	143	37.6%	100	44.2%
知らない	213	47.5%	227	38.2%	171	45.0%	91	40.3%
計	448	100.0%	594	100.0%	380	100.0%	226	100.0%

表6-6-2 年齢×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

年齢 認知状況	20代以下		30代		40代		50代以上	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	201	26.1%	156	16.3%	21	14.0%	7	33.3%
返還が始まる前に知っていた	135	17.5%	122	12.8%	11	7.3%	2	9.5%
返還が始まってから知った	79	10.2%	140	14.6%	25	16.7%	3	14.3%
延滞督促を受けてから知った	8	1.0%	12	1.3%	6	4.0%	0	0.0%
知らない	348	45.1%	526	55.0%	87	58.0%	9	42.9%
計	771	100.0%	956	100.0%	150	100.0%	21	100.0%

(7)年収と減額返還制度の認知状況との関係

奨学生本人の年収と減額返還制度の認知状況との関係を見ると、延滞者では年収300万円以下で「延滞督促を受けてから知った」と回答した比率が4割程度と高かった。

表6-7-1 年収×減額返還制度の認知状況【延滞者】

(単位：人)

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	6	4.3%	12	5.2%	17	5.7%	16	4.7%
返還が始まる前に知っていた	4	2.9%	2	0.9%	8	2.7%	5	1.5%
返還が始まってから知った	14	10.0%	38	16.6%	35	11.8%	61	18.0%
延滞督促を受けてから知った	63	45.0%	85	37.1%	110	37.2%	109	32.2%
知らない	53	37.9%	92	40.2%	126	42.6%	147	43.5%
計	140	100.0%	229	100.0%	296	100.0%	338	100.0%

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・ その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	13	4.4%	10	6.4%	5	7.7%	7	5.5%
返還が始まる前に知っていた	6	2.0%	4	2.5%	1	1.5%	3	2.3%
返還が始まってから知った	45	15.3%	25	15.9%	11	16.9%	12	9.4%
延滞督促を受けてから知った	94	31.9%	60	38.2%	19	29.2%	46	35.9%
知らない	137	46.4%	58	36.9%	29	44.6%	60	46.9%
計	295	100.0%	157	100.0%	65	100.0%	128	100.0%

表6-7-2 年収×減額返還制度の認知状況【無延滞者】

(単位：人)

年収 認知状況	0円		1円～ 100万円以下		100万円超～ 200万円以下		200万円超～ 300万円以下	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	9	16.1%	12	14.8%	27	19.3%	83	22.2%
返還が始まる前に知っていた	7	12.5%	8	9.9%	19	13.6%	48	12.8%
返還が始まってから知った	8	14.3%	13	16.0%	20	14.3%	49	13.1%
延滞督促を受けてから知った	2	3.6%	3	3.7%	2	1.4%	7	1.9%
知らない	30	53.6%	45	55.6%	72	51.4%	187	50.0%
計	56	100.0%	81	100.0%	140	100.0%	374	100.0%

年収 認知状況	300万円超～ 400万円以下		400万円超～ 500万円以下		500万円超～ 600万円以下		600万円超・ その他	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金に申し込む前から知っていた	87	20.3%	55	17.4%	42	19.4%	70	24.5%
返還が始まる前に知っていた	78	18.2%	54	17.1%	24	11.1%	32	11.2%
返還が始まってから知った	56	13.1%	39	12.3%	31	14.4%	31	10.8%
延滞督促を受けてから知った	5	1.2%	2	0.6%	1	0.5%	4	1.4%
知らない	203	47.3%	166	52.5%	118	54.6%	149	52.1%
計	429	100.0%	316	100.0%	216	100.0%	286	100.0%

(8)減額返還制度を何で知ったか（複数回答）

減額返還制度を知っている者（「奨学金に申込み前から知っていた」＋「返還が始まる前に知っていた」＋「返還が始まってから知った」＋「延滞督促を受けてから知った」）に、減額返還制度を何で知ったかを質問した。

延滞者は「機構からの通知」で減額返還制度を知った比率が44.0%と最も高く、無延滞者は「返還のてびき」、「奨学金申請時・採用時の資料」で減額返還制度を知った比率がそれぞれ全体で49.6%、46.3%と高い。

※比率は回答者数に対する比率。複数回答のため、合計は100%を超える。

表6-8-1【延滞者】

（単位：人）

区分	延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	47	7.1%	38	13.4%	85	9.0%
返還のてびき	98	14.8%	59	20.8%	157	16.6%
機構のホームページ	124	18.7%	60	21.1%	184	19.5%
機構からの通知	325	49.1%	91	32.0%	416	44.0%
奨学金相談センター	117	17.7%	31	10.9%	148	15.6%
学校の説明会	7	1.1%	11	3.9%	18	1.9%
連帯保証人・保証人	8	1.2%	5	1.8%	13	1.4%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	19	2.9%	14	4.9%	33	3.5%
債権回収会社	107	16.2%	52	18.3%	159	16.8%
テレビ・新聞などのマスメディア	5	0.8%	1	0.4%	6	0.6%
スカラシップ・アドバイザー	8	1.2%	2	0.7%	10	1.1%
その他	12	1.8%	6	2.1%	18	1.9%
回答者数	662		284		946	

表6-8-2【無延滞者】

（単位：人）

区分	無延滞者					
	採用から10年超		採用から10年以内		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	171	40.3%	259	51.4%	430	46.3%
返還のてびき	202	47.6%	258	51.2%	460	49.6%
機構のホームページ	101	23.8%	83	16.5%	184	19.8%
機構からの通知	52	12.3%	26	5.2%	78	8.4%
奨学金相談センター	9	2.1%	3	0.6%	12	1.3%
学校の説明会	41	9.7%	113	22.4%	154	16.6%
連帯保証人・保証人	2	0.5%	3	0.6%	5	0.5%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	22	5.2%	31	6.2%	53	5.7%
債権回収会社	4	0.9%	0	0.0%	4	0.4%
テレビ・新聞などのマスメディア	11	2.6%	5	1.0%	16	1.7%
スカラシップ・アドバイザー	1	0.2%	2	0.4%	3	0.3%
その他	6	1.4%	2	0.4%	8	0.9%
回答者数	424		504		928	

<参考> 過年度調査の結果

【延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	64	7.9%	65	7.1%	29	2.8%
返還のてびき	104	12.8%	129	14.1%	146	14.0%
機構のホームページ	135	16.6%	141	15.4%	137	13.1%
機構からの通知	379	46.5%	441	48.1%	469	45.0%
奨学金相談センター	205	25.2%	206	22.5%	249	23.9%
学校の説明会	17	2.1%	20	2.2%	16	1.5%
連帯保証人・保証人	18	2.2%	18	2.0%	26	2.5%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	32	3.9%	36	3.9%	44	4.2%
債権回収会社	117	14.4%	117	12.8%	140	13.4%
テレビ・新聞などのマスメディア	6	0.7%	9	1.0%	7	0.7%
スカラシップ・アドバイザー	13	1.6%	10	1.1%	11	1.1%
その他	9	1.1%				
回答者数	815		916		1,042	

【無延滞者】

(単位：人)

区分	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率
奨学金申請時・採用時の資料	293	41.3%	259	40.6%	309	36.8%
返還のてびき	319	45.0%	297	46.6%	401	47.8%
機構のホームページ	169	23.8%	144	22.6%	149	17.8%
機構からの通知	82	11.6%	62	9.7%	114	13.6%
奨学金相談センター	11	1.6%	8	1.3%	10	1.2%
学校の説明会	115	16.2%	114	17.9%	166	19.8%
連帯保証人・保証人	7	1.0%	2	0.3%	5	0.6%
家族や友人や知人（連帯保証人・保証人以外）	47	6.6%	33	5.2%	54	6.4%
債権回収会社	4	0.6%	3	0.5%	1	0.1%
テレビ・新聞などのマスメディア	20	2.8%	20	3.1%	17	2.0%
スカラシップ・アドバイザー	1	0.1%	1	0.2%	2	0.2%
その他	18	2.5%				
回答者数	709		638		839	

(9)スカラネット・パーソナルによる電子申請の認知状況

減額返還や返還期限猶予について、電子申請の認知度（「知っている」＋「知っており、電子申請したことがある」）は、延滞者で28.3%、無延滞者で35.4%である。

採用年別で比較すると、いずれの区分も採用から10年以内の認知度が高い。

表6-9

(単位：人)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	比率	人数	比率
知っている	405	24.6%	618	32.6%
知っており、電子申請したことがある	61	3.7%	53	2.8%
知らない	1,182	71.7%	1,227	64.6%
計	1,648	100.0%	1,898	100.0%

表6-9（参考）

(単位：人)

区分	延滞者				無延滞者			
	採用から10年超		採用から10年以内		採用から10年超		採用から10年以内	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
知っている	275	24.7%	130	24.3%	267	27.2%	351	38.2%
知っており、電子申請したことがある	27	2.4%	34	6.4%	26	2.7%	27	2.9%
知らない	812	72.9%	370	69.3%	687	70.1%	540	58.8%
計	1,114	100.0%	534	100.0%	980	100.0%	918	100.0%